

2020 年度卒業生の学修成果・満足度調査

本調査は、本学の学生を対象に実施しているアンケート形式の調査である。【学修成果に関する自己評価】と【短大生活の満足度・充実度】に関して、5段階で調査している。2018 年度 2 年後期と 2019 年度 2 年後期に実施し、その 2 つの調査を比較して分析している。

2020 年度卒業生の調査結果は、下記の通りである。

(1) 実施期間

2018 年度 2 年後期：2020 年 1 月 27 日（月）～2 月 25 日（火）

2019 年度 2 年後期：実施期間：2021 年 1 月 12 日（火）～2 月 18 日（木）

(2) 実施方法

各学科で回答期間を設定し、We b シラバス上で回答させている。

(3) 対象者

2020 年度卒業生（全学科） 375 名

(4) 回答者数

学 科	2018 年度入学生 2 年後期			2019 年度入学生 2 年後期		
	学生数	回答者数	回答率	学生数	回答者数	回答率
食物栄養学科	79 名	53 名	67.1%	89 名	47 名	52.8%
幼児教育学科	88 名	41 名	46.6%	92 名	85 名	92.4%
経営情報学科	123 名	76 名	61.8%	134 名	62 名	46.3%
健康福祉学科	31 名	7 名	22.6%	42 名	27 名	64.3%
専攻科食物栄養専攻	15 名	6 名	40.0%	11 名	4 名	36.4%
合 計	345 名	183 名	53.0%	375 名	225 名	60.0%

(5) 記載における注意点

添付されているグラフ内において、5%未満の数値は表示が重なってしまう関係上、削除している。

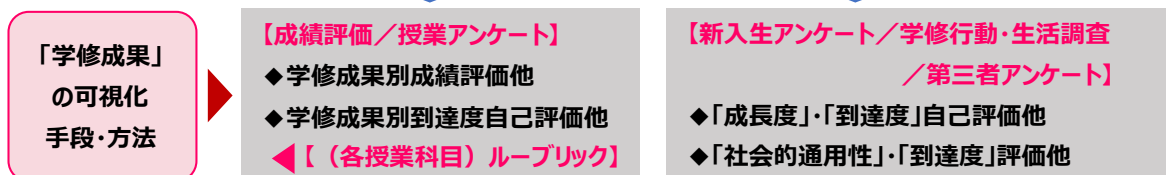
(6) 本学における学修成果のとらえ方

本学では、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)として、次の5つの力を身につけることを全学的な教育目標としています。

- ① 実践の土台となる「専門的知識・技能」
- ② 実践を支える「思考力・判断力・表現力」
- ③ 生涯学び続け成長するための「主体的に学ぶ力」
- ④ 他者を尊重し、多様な人々と共に共通の目標の実現に貢献できる「協働力」
- ⑤ 健全で豊かな「人間性」

この「5つの力」に対応して、「学力の三要素」を考慮した「5つの基準」((L01) 知識・理解, (L02) 技能, (L03) 思考力・判断力・表現力, (L04) 関心・意欲・態度, (L05) 人間性・社会性)を設定し、この「5つの基準」別に各学科・各授業科目で育成する具体的な資質・能力(「学修成果」)を明示しています。さらに、「学修成果」の全学的な共通のベンチマークとして、「5つの基準」に対応させた「17の具体的な資質・能力」を規定して、「学修成果」の到達度・成長度を把握しています。

「5つの力」(全学DP)・「学修成果」の「5つの基準」・「17の具体的な資質・能力」			
(DP) 育成する人材像 身に付けるべき「5つの力」	「学修成果」の 「5つの基準」	身に付けるべき 「17の具体的な資質・能力」	「21世紀 型能力」 (NIER)
1 実践の土台となる「専門的 知識・技能」	(L01) 知識・理解	① 幅広い教養・一般常識 ② 専門分野の基礎的な知識	【基礎力】 (基礎的 リテラシー)
	(L02) 技能	③ 専門分野での実践に必要な技術・技能 ④ PCや情報機器を操作する力 ⑤ 分かりやすく伝える力・プレゼンテーション力 ⑥ 分かりやすく文章にまとめる力	
2 実践を支える「思考力・ 判断力・表現力」	(L03) 思考力・判断力・ 表現力	⑦ 問題点・課題を発見して、 論理的に問題・課題を解決できる力	【思考力】 (認知 スキル)
3 生涯学び続け成長するための 「主体的に学ぶ力」	(L04) 関心・意欲・ 態度	⑧ 自分の適性や能力を把握する力 ⑨ 自学自習する力・習慣 ⑩ 自分で目標を設定し、計画的に行動する力 ⑪ ねばり強さ・持続力・集中力 ⑫ チャレンジ精神 ⑬ 自己効力感や自信・自己肯定感	【実践力】 (社会的 リテラシー)
4 他者を尊重し多様な人々と共 に共通の目標の実現に 貢献できる「協働力」	(L05) 人間性・社会性	⑭ 多様な価値観・考えを持つ人々の理解と尊重 ⑮ 社会的責任の自覚と高い倫理観 ⑯ 地域や社会に貢献する意識	
5 健全で豊かな「人間性」		⑰ 協働して共通の目標の実現に貢献する力	

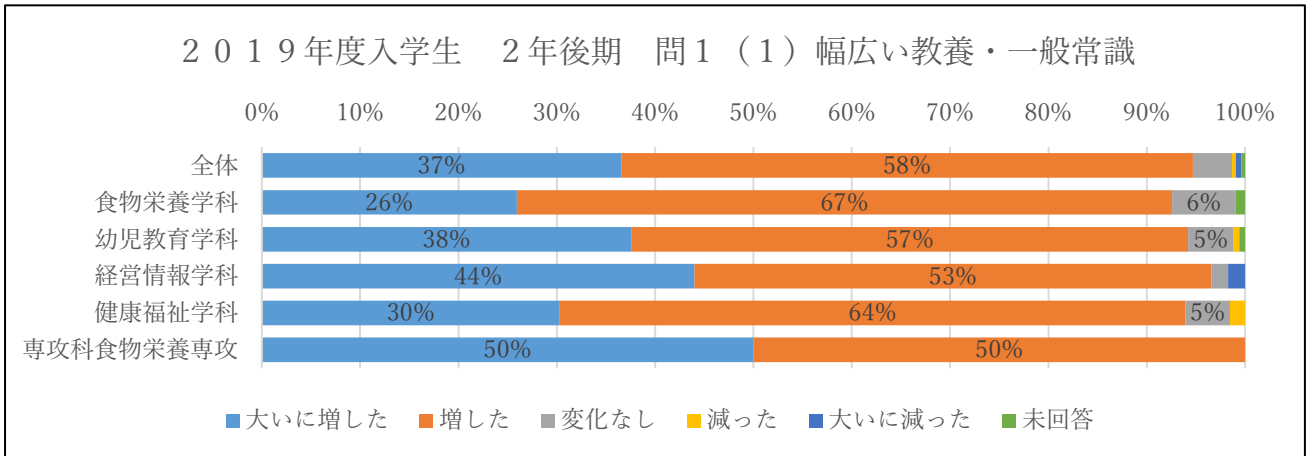
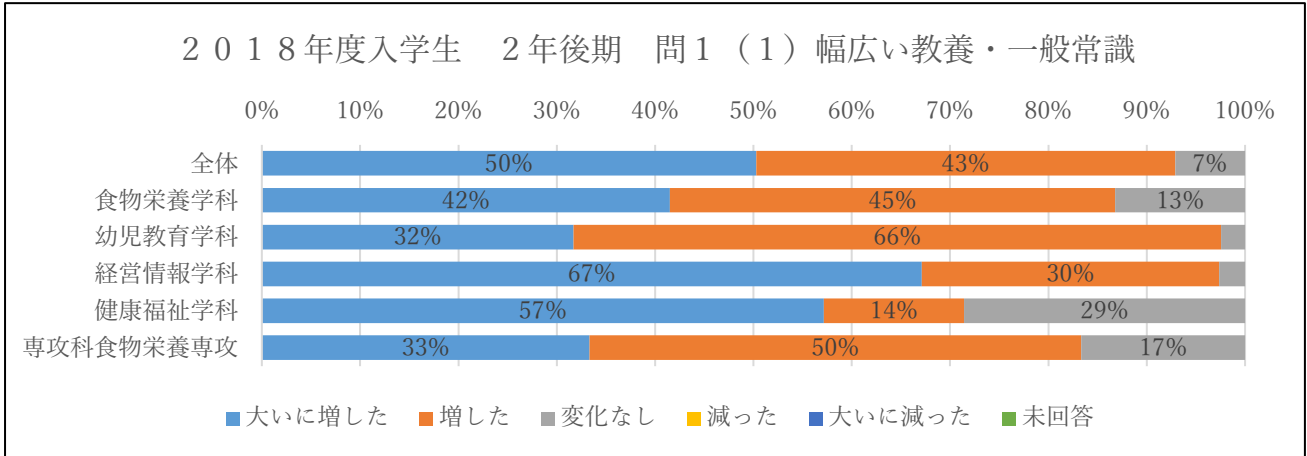


(7) 調査結果

【I. 「学修成果」に関する自己評価】

問1. 入学した時点と比べて、能力や知識はどのように変化しましたか。

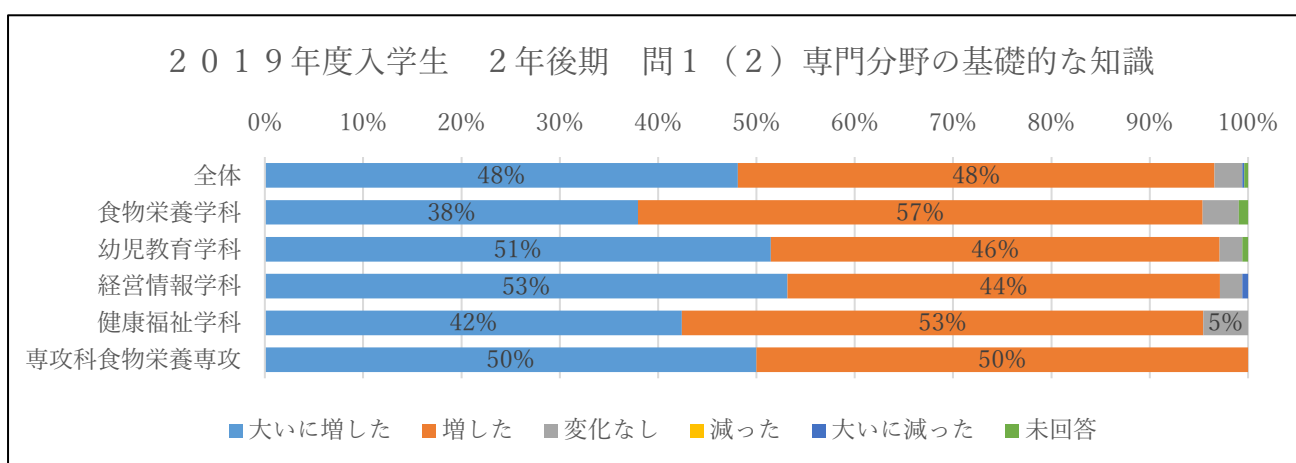
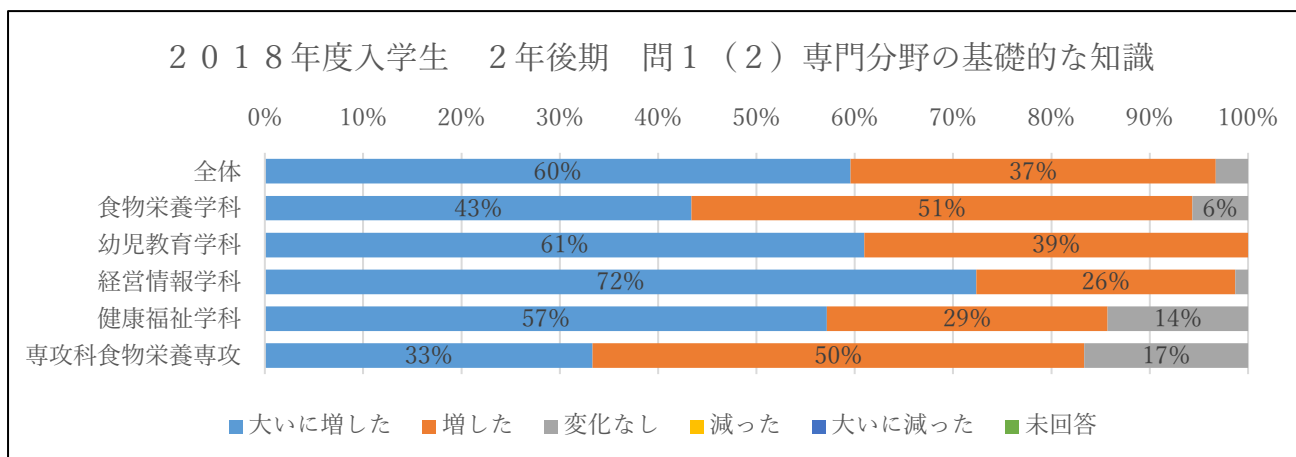
(1) 幅広い教養・一般常識



2019年度入学生は、全体で「大いに増した・増した」と回答した学生は95%となっており、大部分の学生が増したと回答している。2018年度入学生と比較すると、「大いに増した・増した」と回答した学生は2%増となっているが、「大いに増した」の割合が13%減少している。コロナ感染症対策で対面授業が減ったことも関係していると思われる。

一方で、健康福祉学科と専攻科食物栄養専攻で「大いに増した・増した」と回答した学生が増加するという改善がみられる。

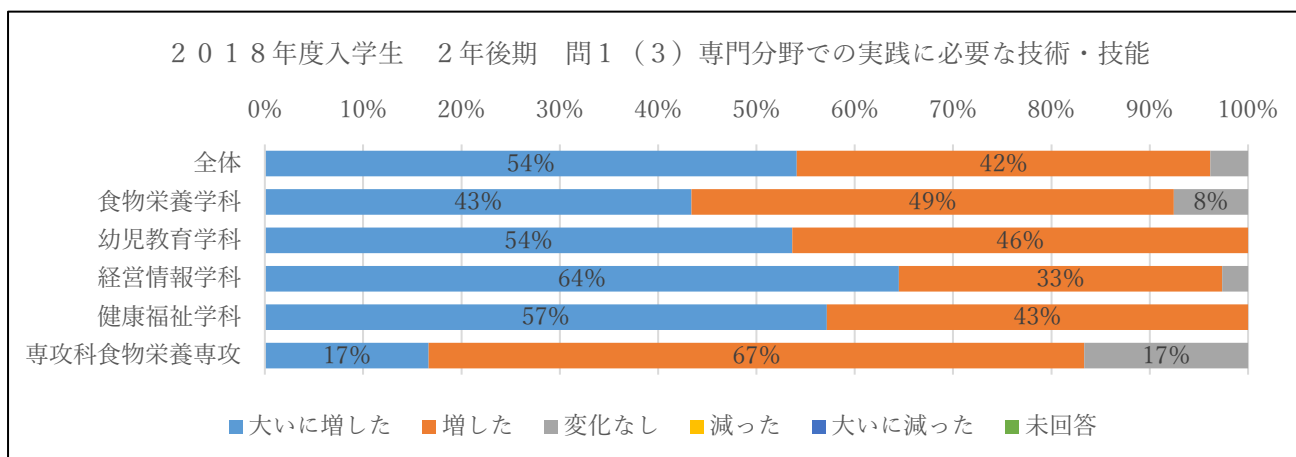
(2) 専門分野の基礎的な知識

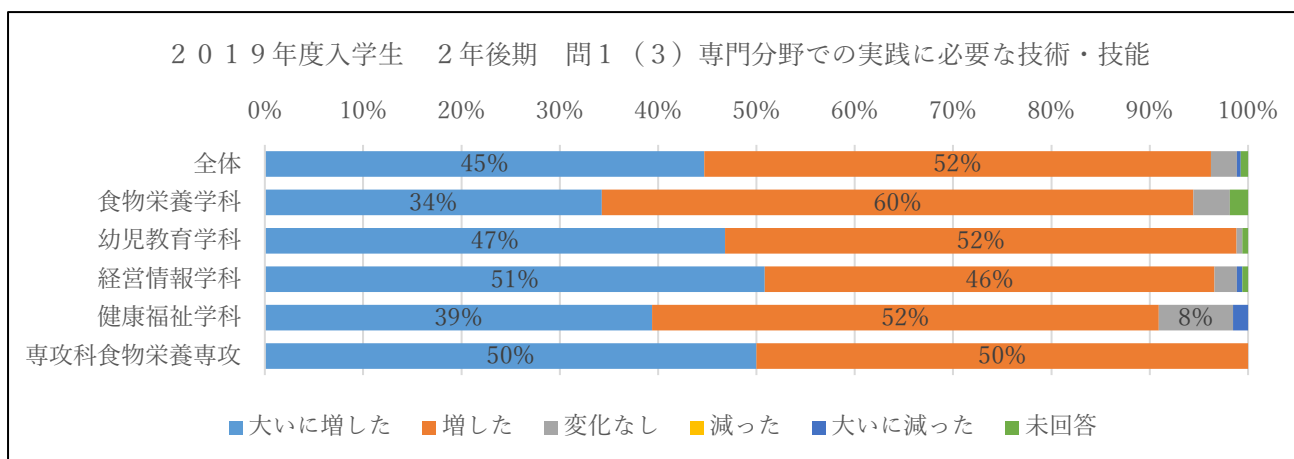


2019年度入学生は、全体で「大いに増した・増した」と回答した学生は96%となっており、大部分の学生が増したと回答している。2018年度入学生と比較すると、「大いに増した・増した」と回答した学生は1%減でほぼ同じだが、「大いに増した」が12%減少している。コロナ感染症対策で対面授業が減ったことも関係していると思われる。

一方で、健康福祉学科と専攻科食物栄養専攻で「大いに増した・増した」と回答した学生が増加するという改善がみられる。

(3) 専門分野での実践に必要な技術・技能

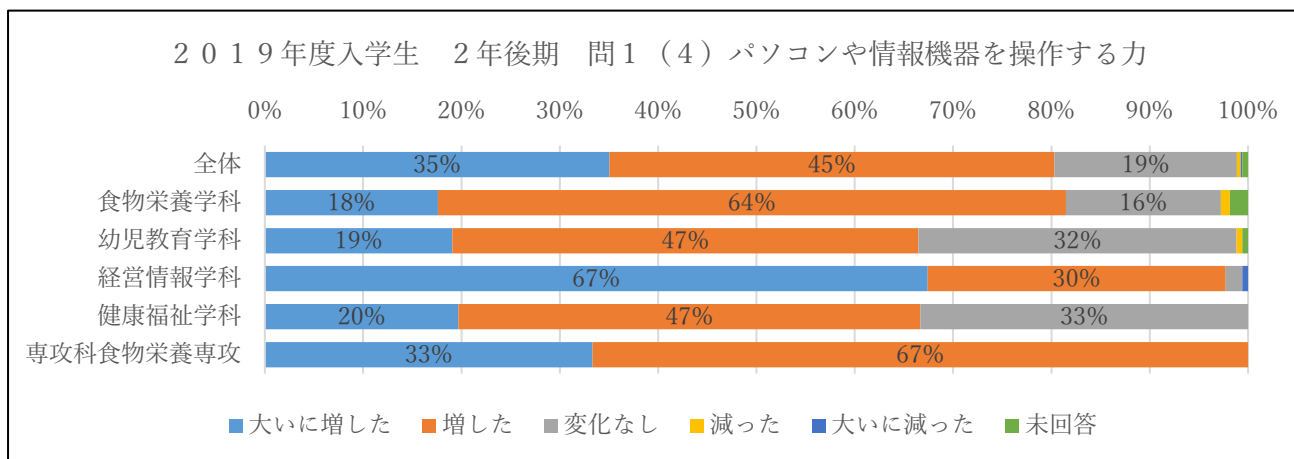
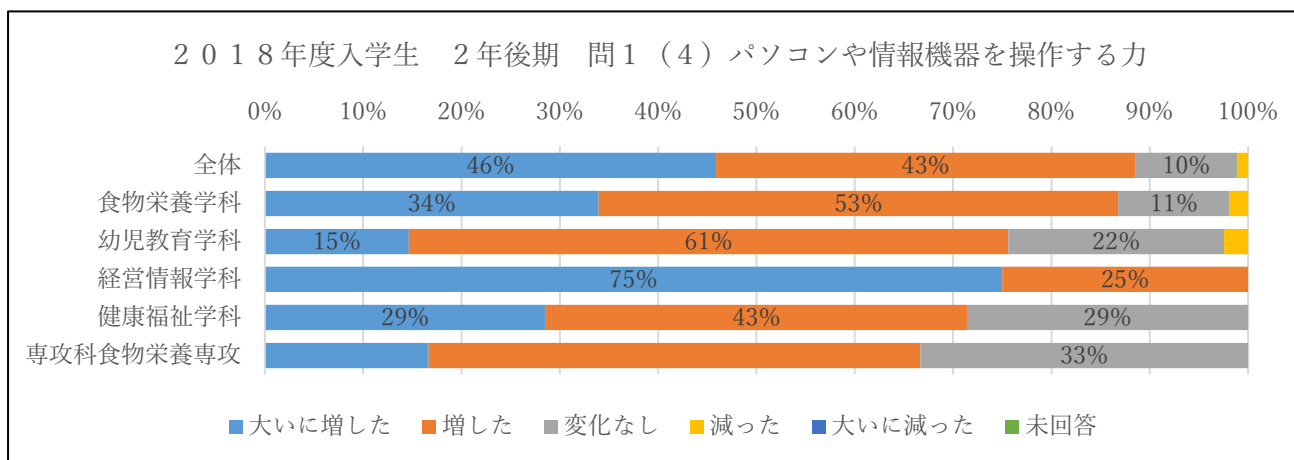




2019年度入学生は、全体で「大いに増した・増した」と回答した学生は97%となっており、大部分の学生が増したと回答している。2018年度入学生と比較すると、「大いに増した・増した」と回答した学生は1%増でほぼ同じだが、「大いに増した」が9%減少している。コロナ感染症対策で実習等が減ったことも関係していると思われる。

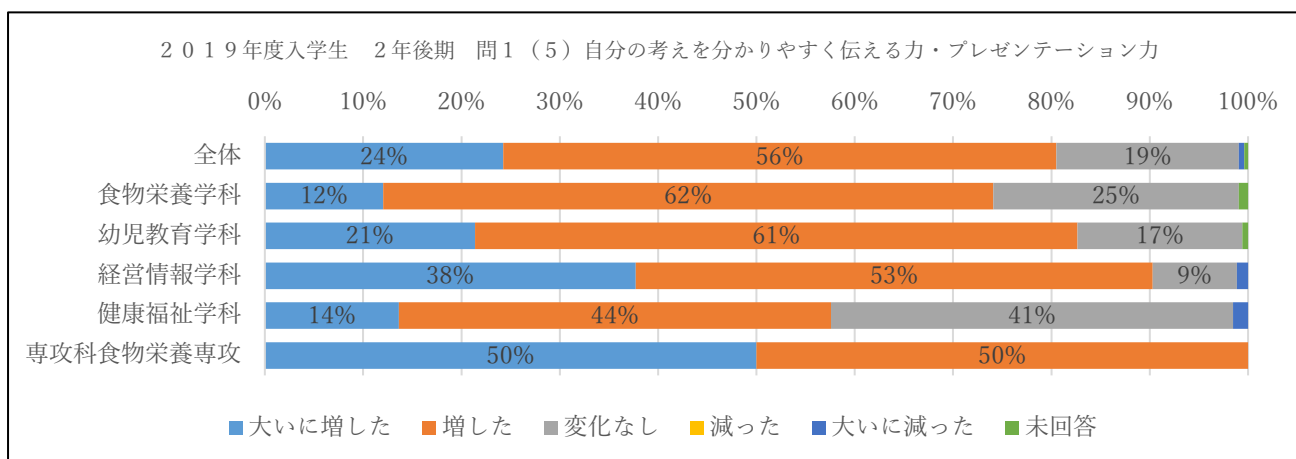
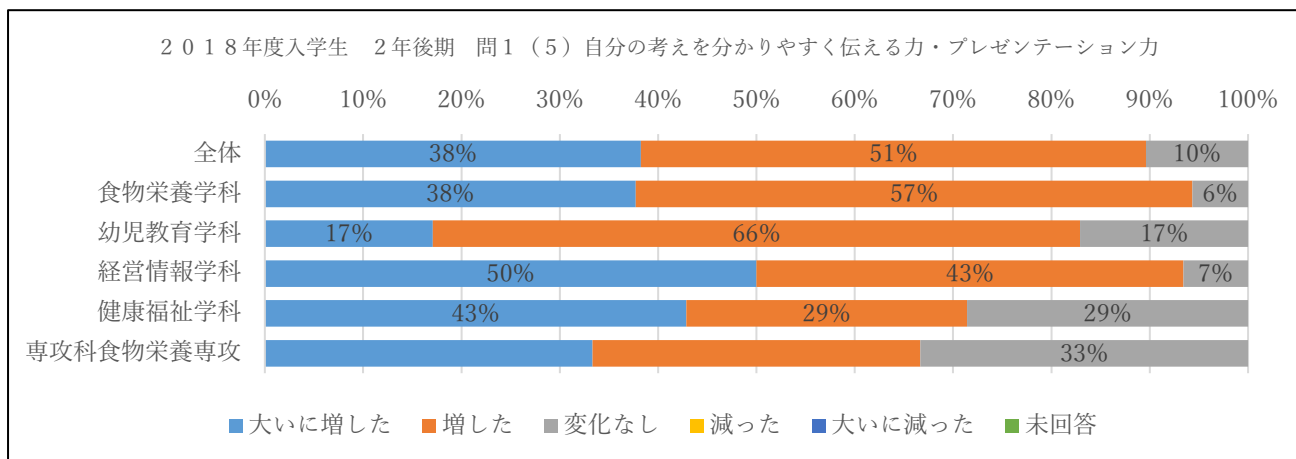
また、2019年度入学生では、健康福祉学科で「変化なし・大いに減った」と回答している学生がわずかに増えている。これはZoomでの授業が多かったことが関係していると考えられる。

(4) パソコンや情報機器を操作する力



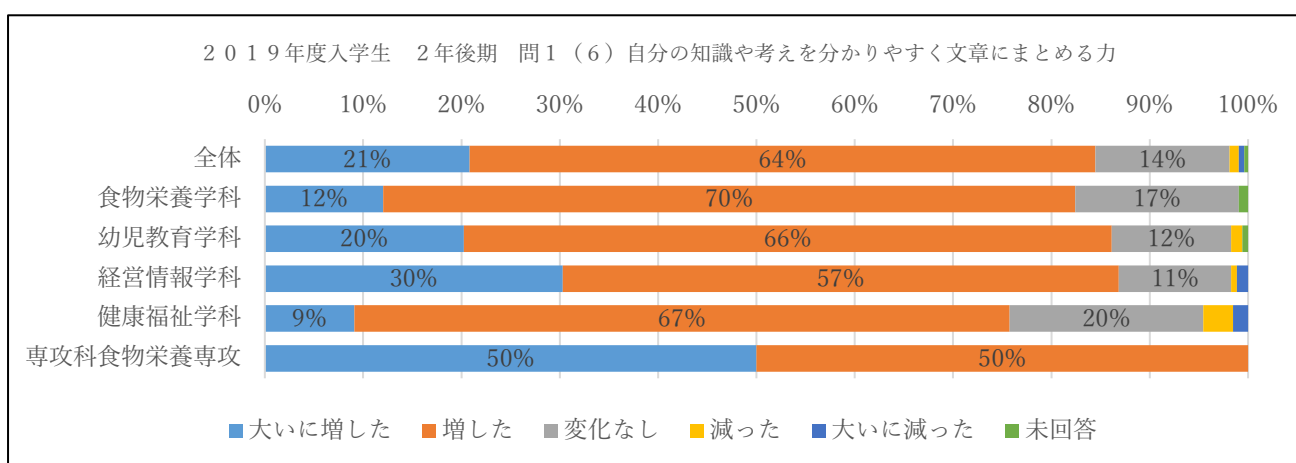
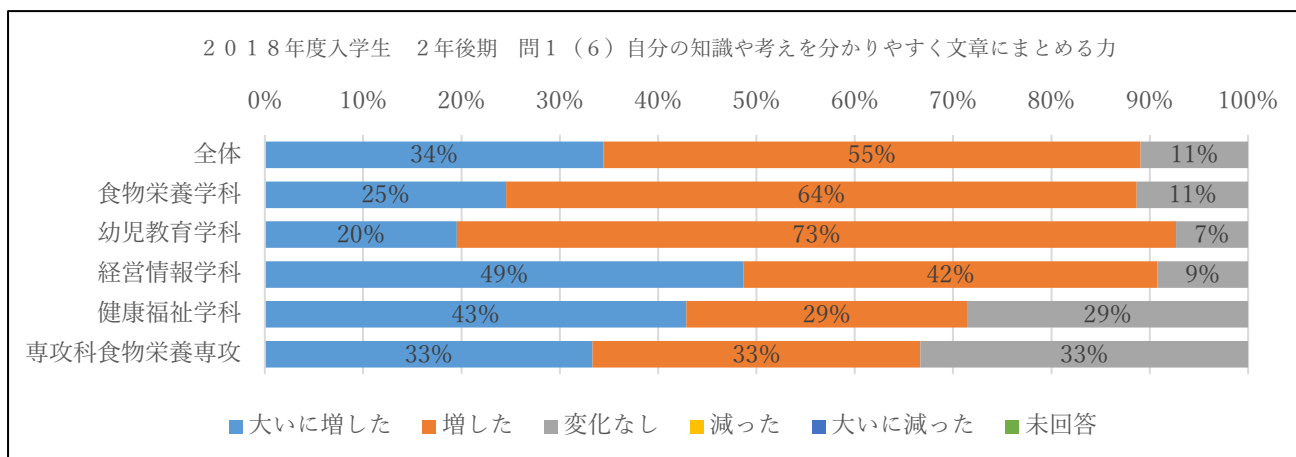
2019年度入学生は、全体で「大いに増した・増した」と回答した学生は80%となっており、大部分の学生が増したと回答している。しかし、2018年度入学生と比較すると、「大いに増した・増した」と回答した学生は9%減となり、「変化なし」が9%増となっている。コロナ禍によってパソコンを利用した遠隔授業が増えたにも関わらず、このような結果になったことについて、原因の究明が必要である。

(5) 自分の考えを分かりやすく伝える力・プレゼンテーション力



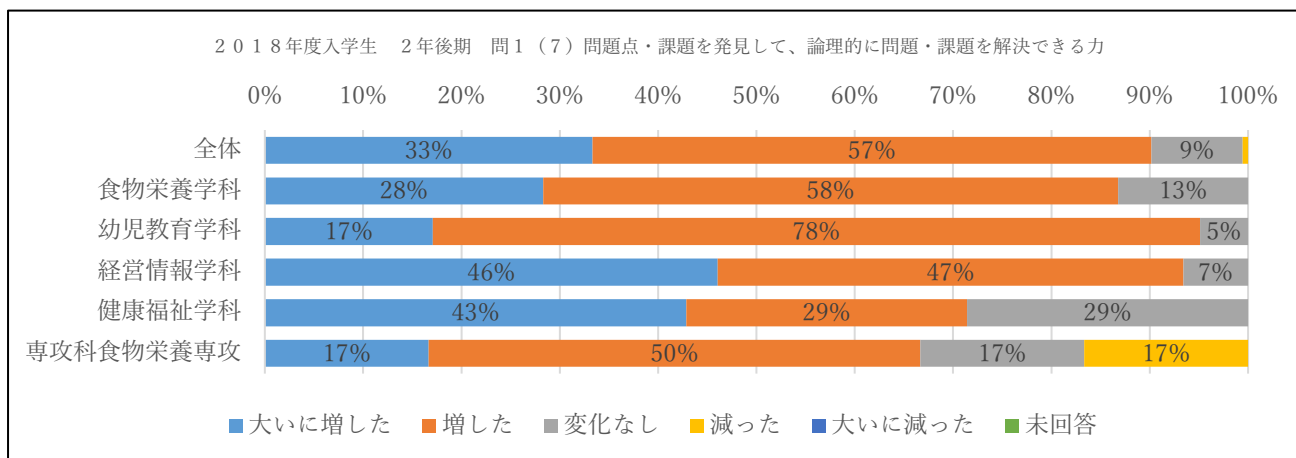
2019年度入学生は、全体で「大いに増した・増した」と回答した学生は80%となっており、大部分の学生が増したと回答している。しかし、2018年度入学生と比較すると、「大いに増した・増した」と回答した学生は9%減となり、「変化なし」が9%増となっている。コロナ禍によって、発表を行う機会が減少したことが原因の一つであると考えられる。

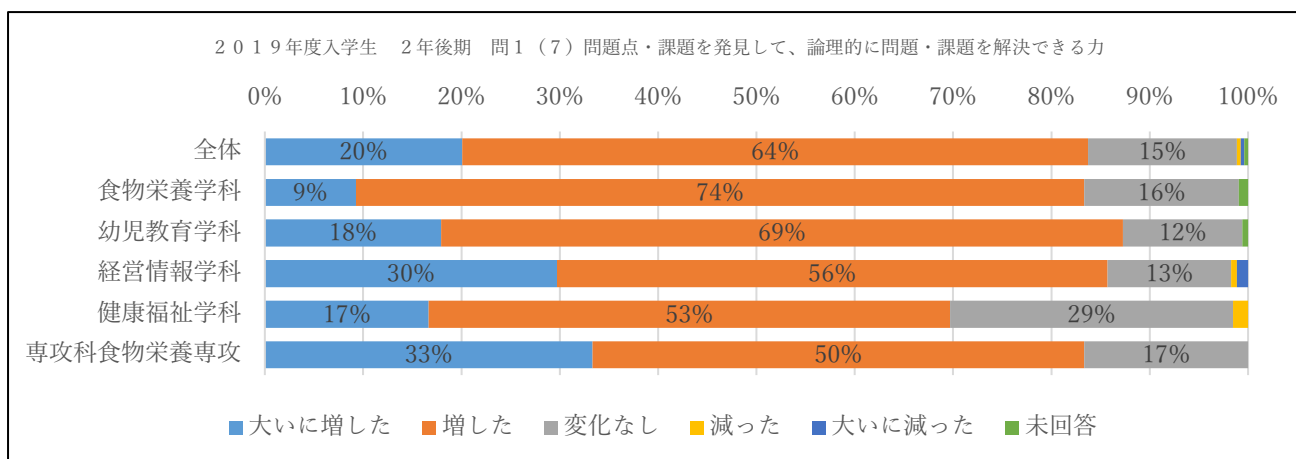
(6) 自分の知識や考えを分かりやすく文章にまとめる力



2019年度入学生は、全体で「大いに増した・増した」と回答した学生は85%となっており、大部分の学生が増したと回答している。しかし、2018年度入学生と比較すると、「大いに増した・増した」と回答した学生は4%減となり、「大いに増した」の割合も13%減少している。原因の究明が必要である。

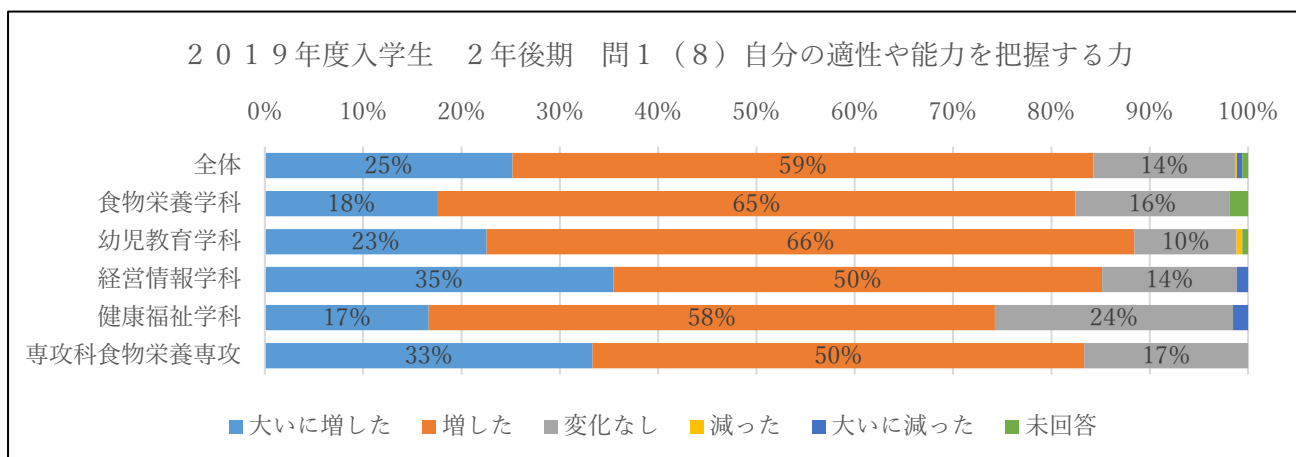
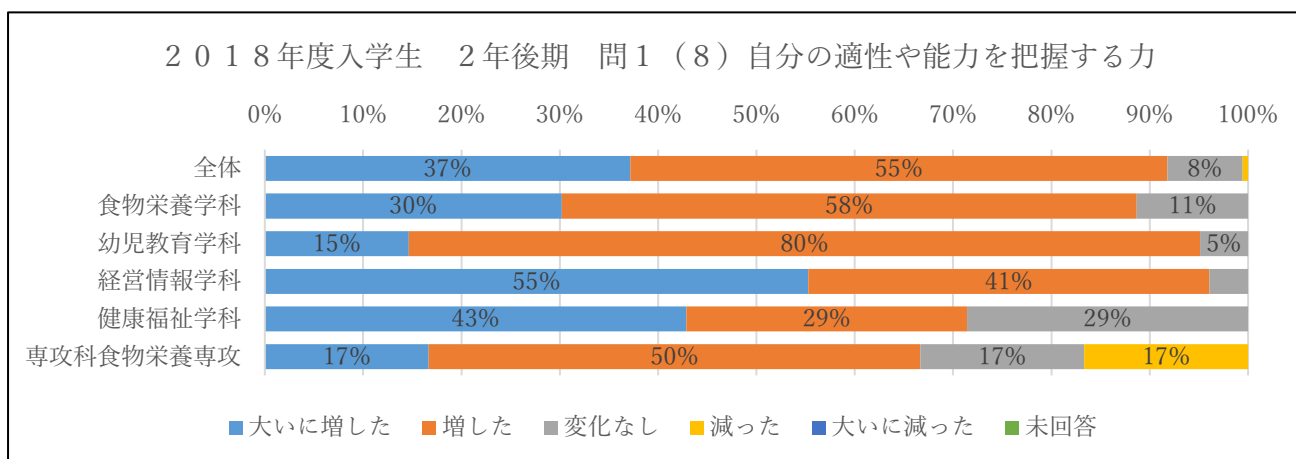
(7) 問題点・課題を発見して、論理的に問題・課題を解決できる力





2019年度入学生は、全体で「大いに増した・増した」と回答した学生は84%となっており、大部分の学生が増したと回答している。しかし、2018年度入学生と比較すると、「大いに増した・増した」と回答した学生は6%減となり、「大いに増した」の割合も13%減少している。コロナ禍による授業方法の変化が関係していることが考えられる。

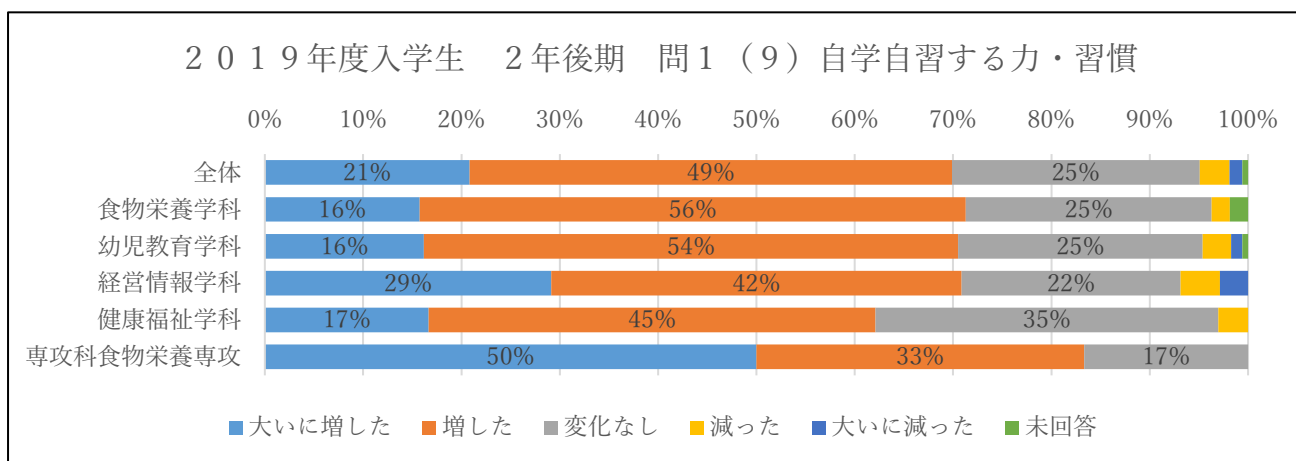
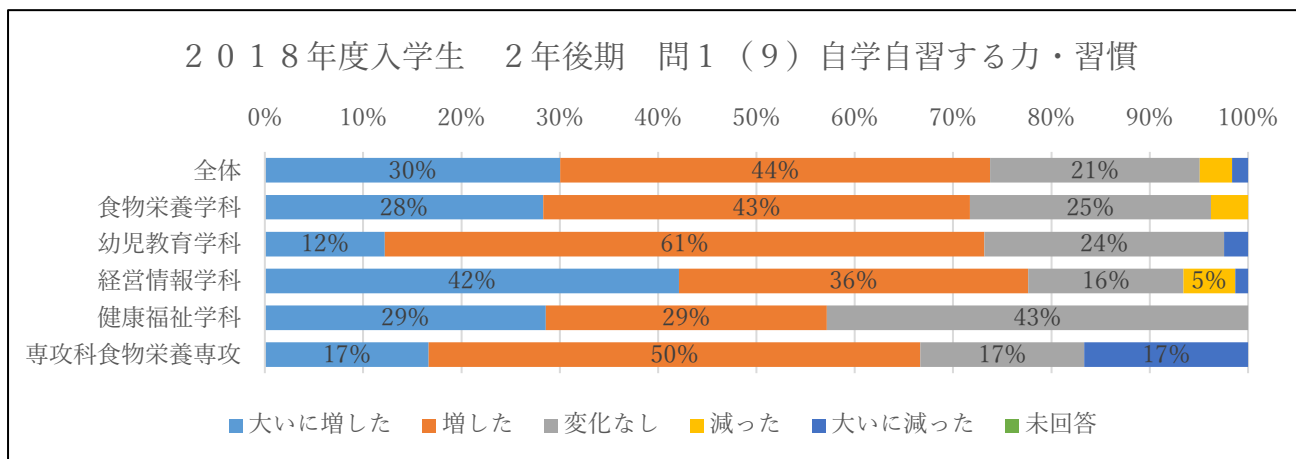
(8) 自分の適性や能力を把握する力



2019年度入学生は、全体で「大いに増した・増した」と回答した学生は84%となっており、大部分の学生が増したと回答している。しかし、2018年度入学生と比較すると、「大いに増した・増した」

と回答した学生は8%減となり、「大いに増した」の割合も12%減少している。コロナ禍によって他者との交流や実習の機会が少なかったことが原因の一つではないかと考えられる。

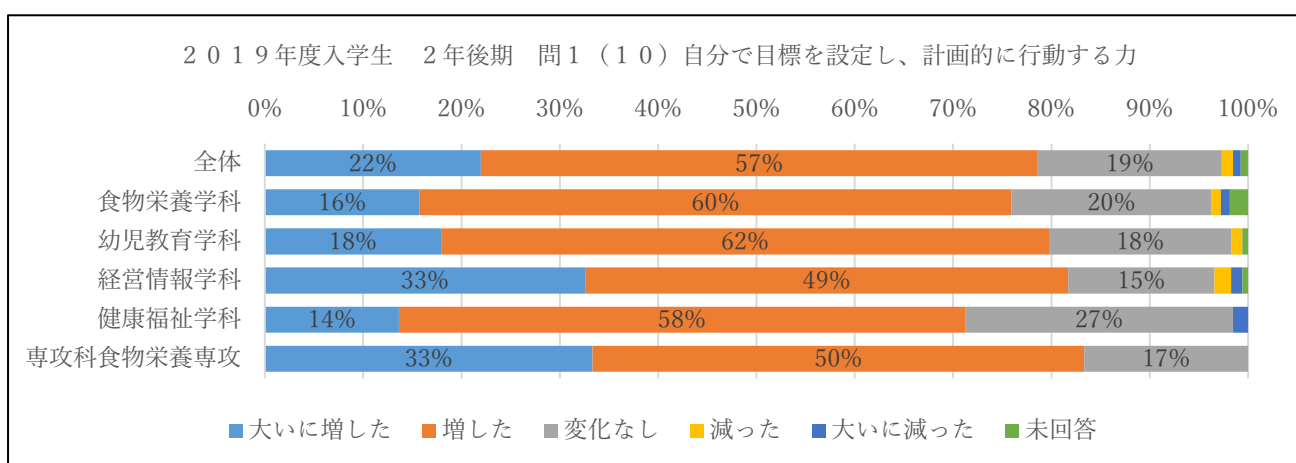
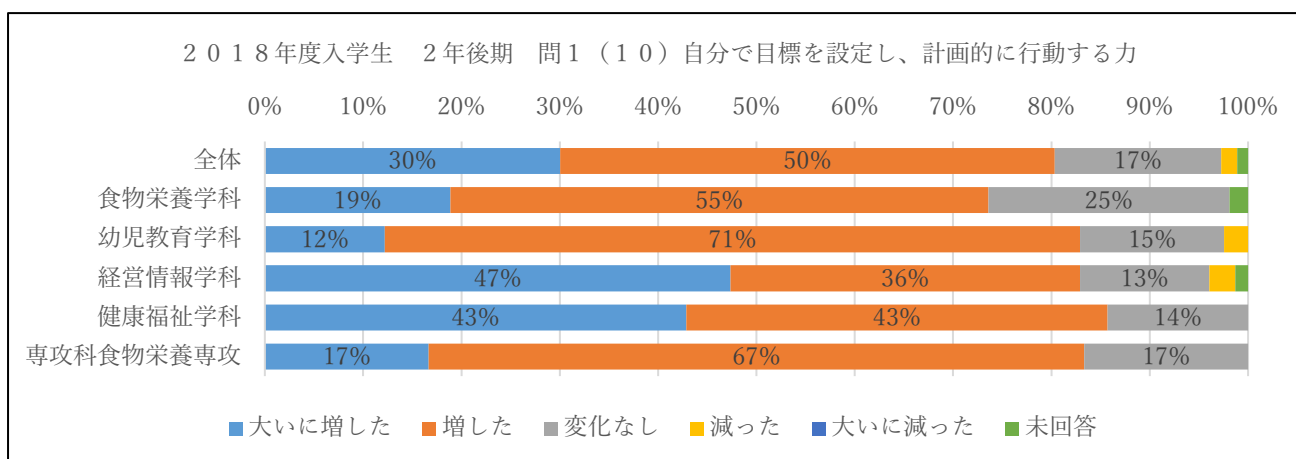
(9) 自学自習する力・習慣



2019年度入学生は、全体で「大いに増した・増した」と回答した学生は70%となっており、大半の学生が増したと回答している。しかし、2018年度入学生と比較すると、「大いに増した・増した」と回答した学生は4%減となり、「大いに増した」の割合も9%減少している。

その中で、健康福祉学科と専攻科では「大いに増した・増した」と回答した学生が増加するという改善が見られる。

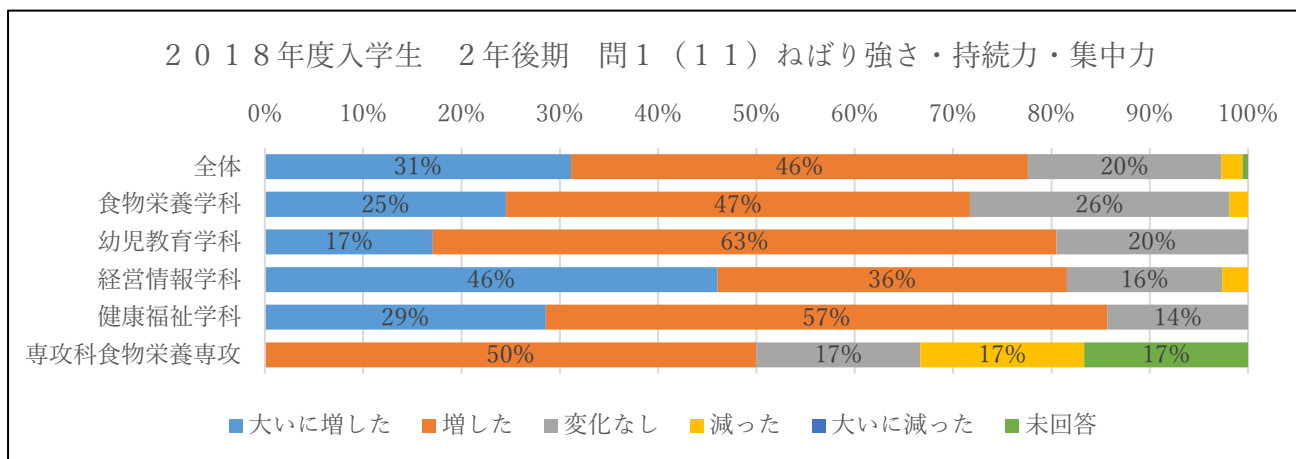
(10) 自分で目標を設定し、計画的に行動する力

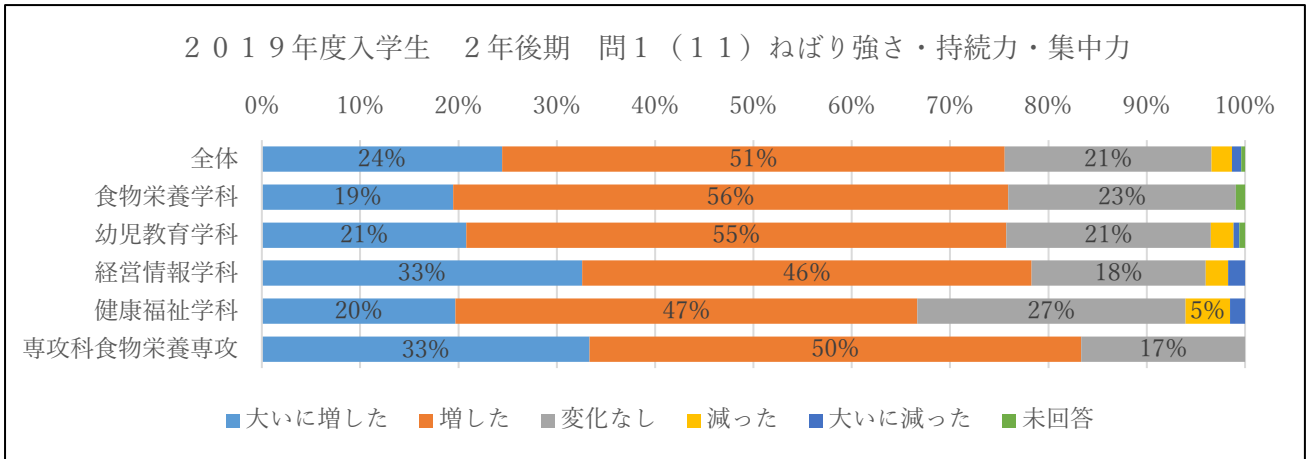


2019年度入学生は、全体で「大いに増した・増した」と回答した学生は79%となっており、大部分の学生が増したと回答している。2018年度入学生と比較すると、「大いに増した・増した」と回答した学生は1%減と大きな変化は見られなかったが、「大いに増した」の割合は8%減少している。

健康福祉学科のみ「大いに増した・増した」と回答した学生が14%減となったことについては、その原因を究明する必要がある。

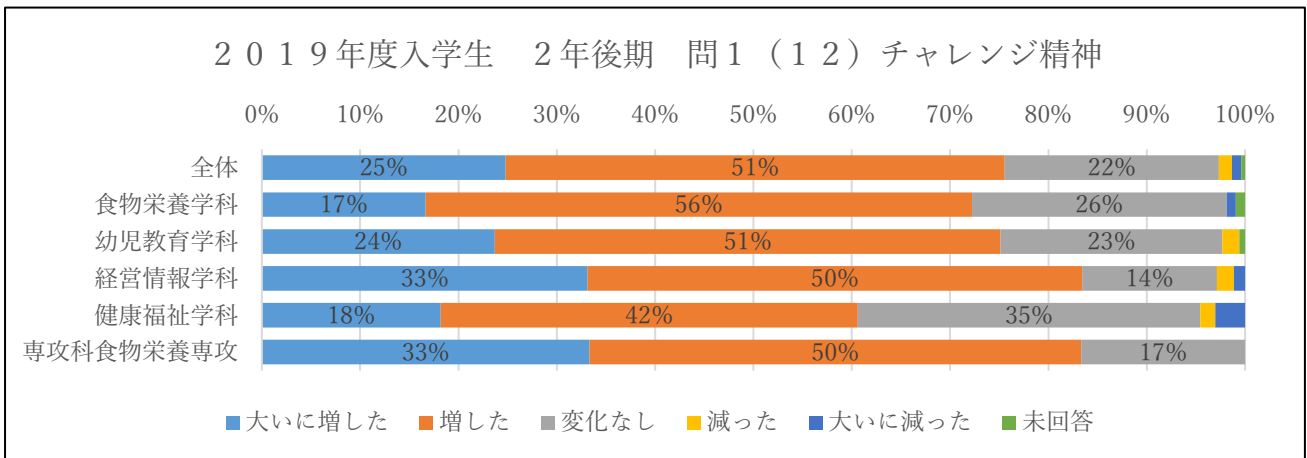
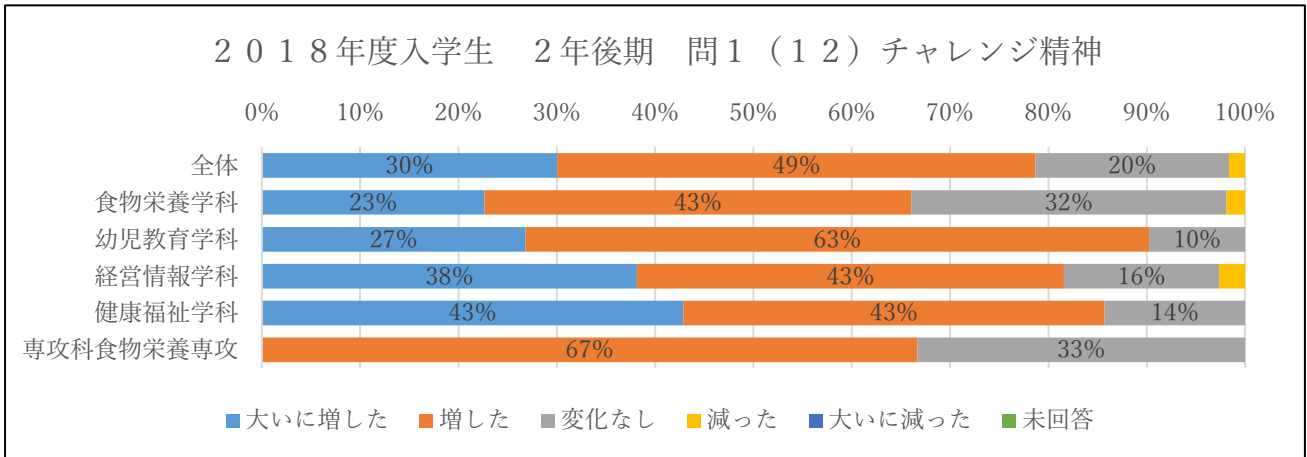
(11) ねばり強さ・持続力・集中力





2019年度入学生は、全体で「大いに増した・増した」と回答した学生は75%となっており、大半の学生が増したと回答している。2018年度入学生と比較すると、「大いに増した・増した」と回答した学生は2%減となるが、「大いに増した」の割合は7%減少している。また、学科によって「大いに減った」と回答した学生がわずかではあるが存在したことについては、対策が必要である。

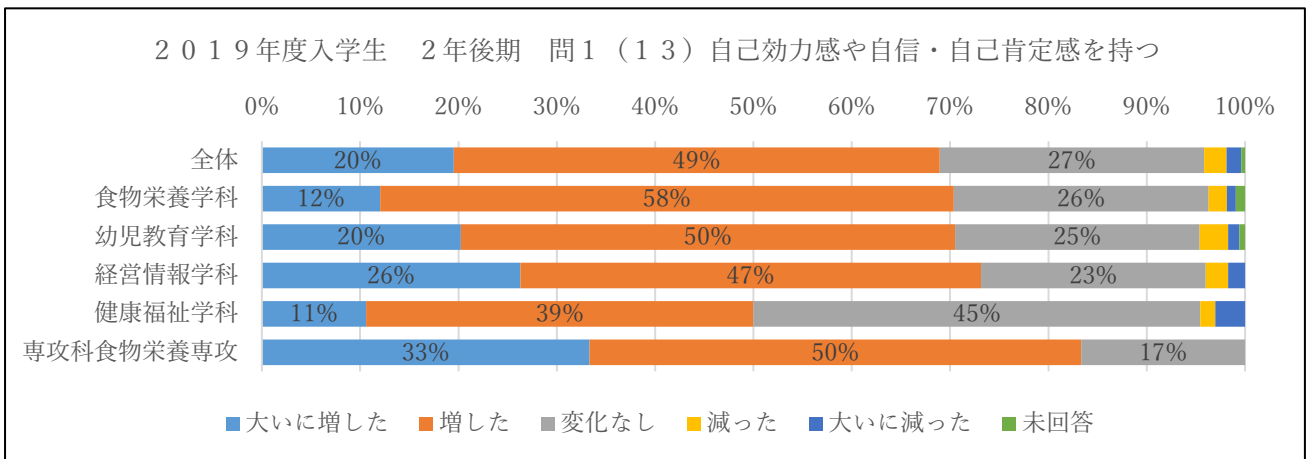
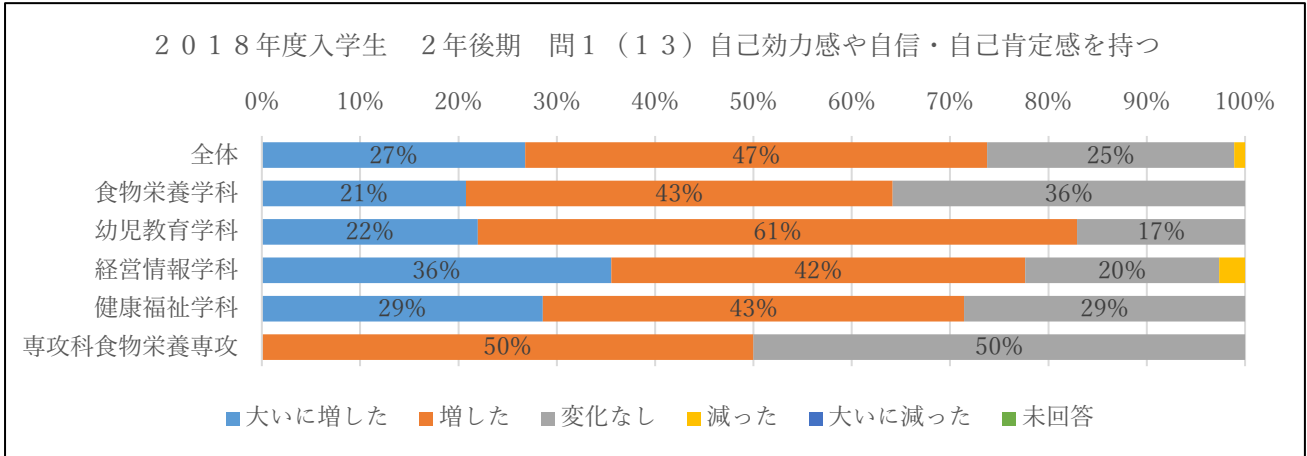
(12) チャレンジ精神



2019年度入学生は、全体で「大いに増した・増した」と回答した学生は76%となっており、大半の学生が増したと回答している。2018年度入学生と比較すると、「大いに増した・増した」と回答し

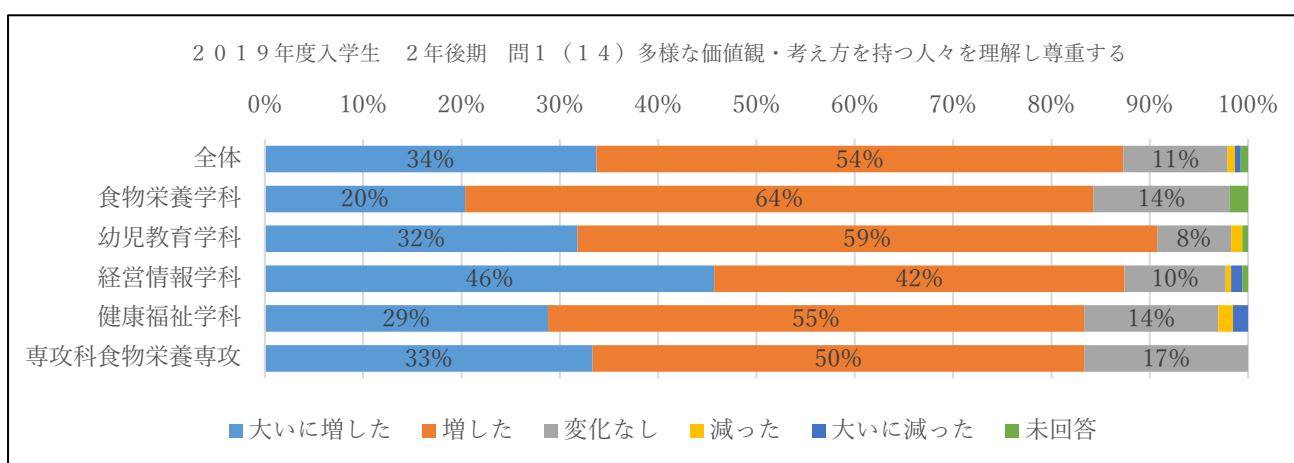
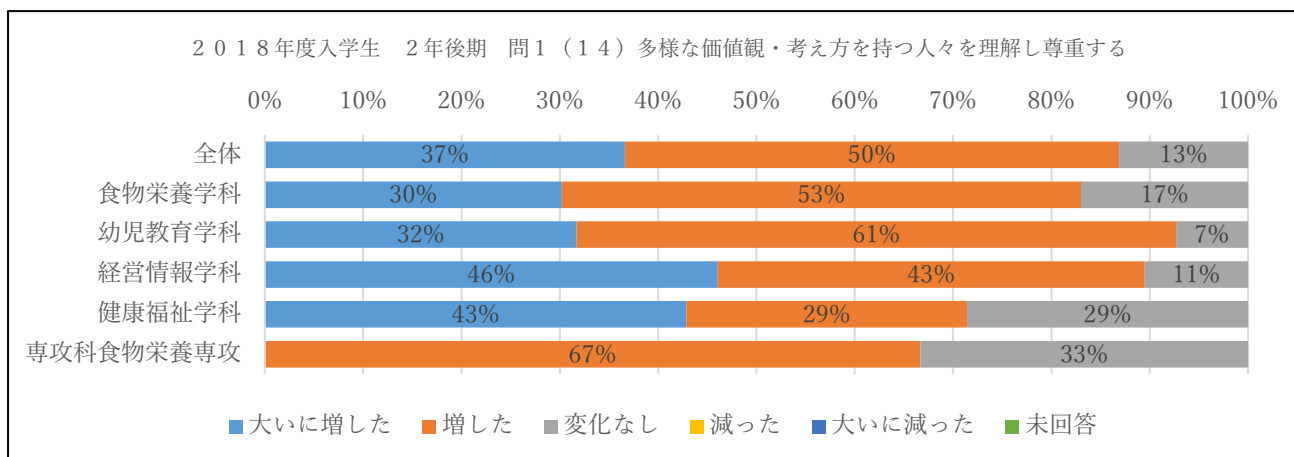
た学生は3%減であった。ただ、学科によって「大いに減った」と回答した学生がわずかではあるが存在したことについては、対策が必要である。

(13) 自己効力感や自信・自己肯定感を持つ



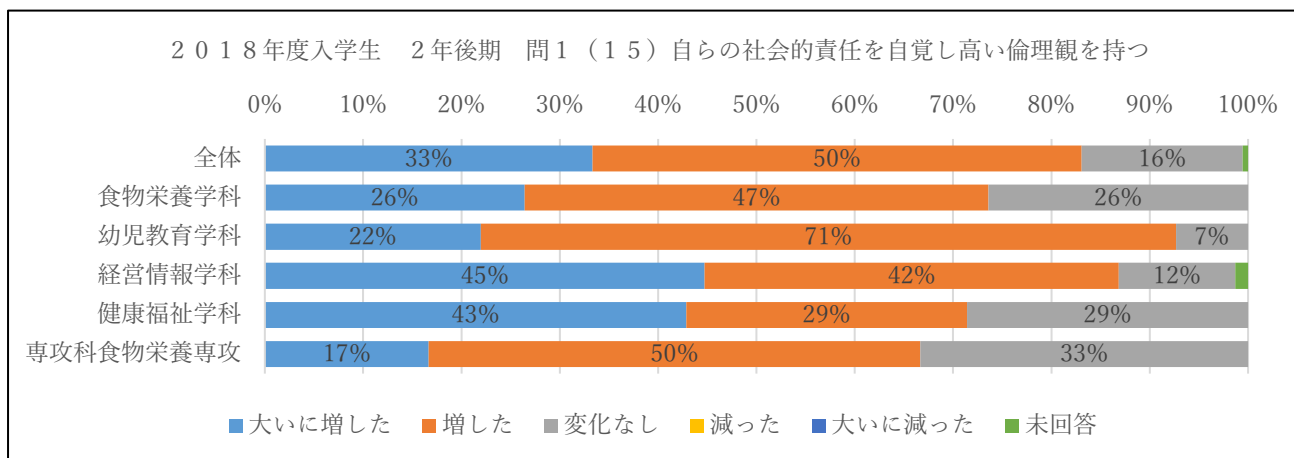
2019年度入学生は、全体で「大いに増した・増した」と回答した学生は69%となっており、大半の学生が増したと回答している。しかし、2018年度入学生と比較すると、「大いに増した・増した」と回答した学生は5%減となっており、特に健康福祉学科は22%減となっている。また、学科によって「大いに減った」と回答した学生がわずかではあるが存在したことについては、対策が必要である。

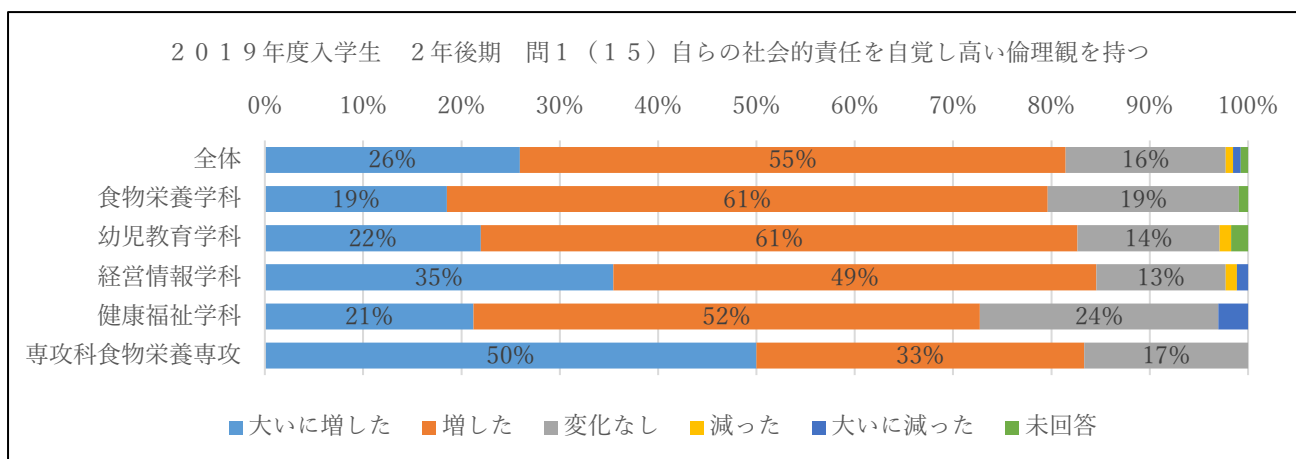
(14) 多様な価値観・考え方を持つ人々を理解し尊重する



2019年度入学生は、全体で「大いに増した・増した」と回答した学生は88%となっており、大部分の学生が増したと回答している。2018年度入学生と比較すると、「大いに増した・増した」と回答した学生は1%増と大きな変化は見られなかった。また、学科によって「減った・大いに減った」と回答した学生がわずかではあるが存在したことについては、対策が必要である。

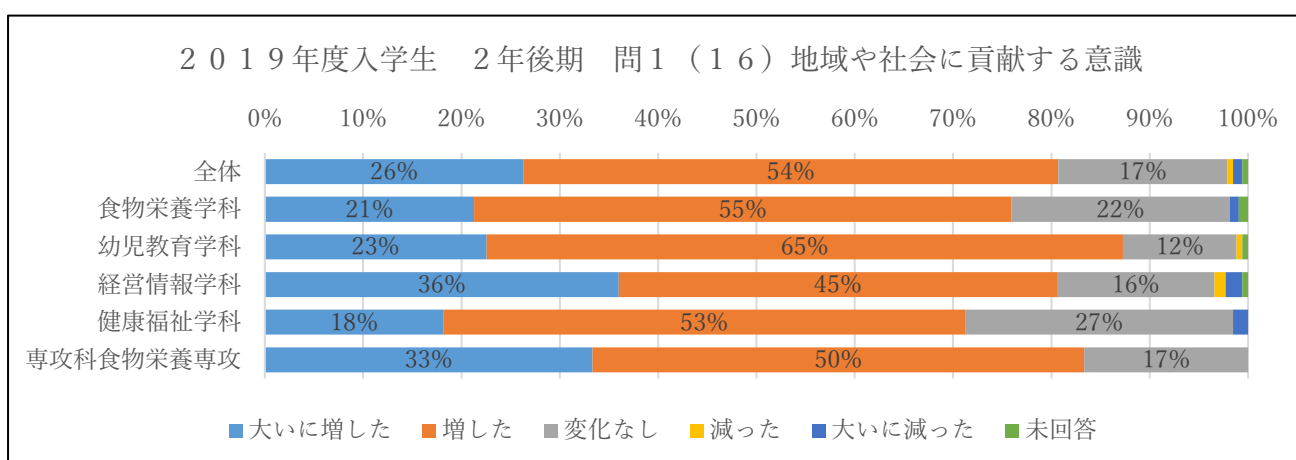
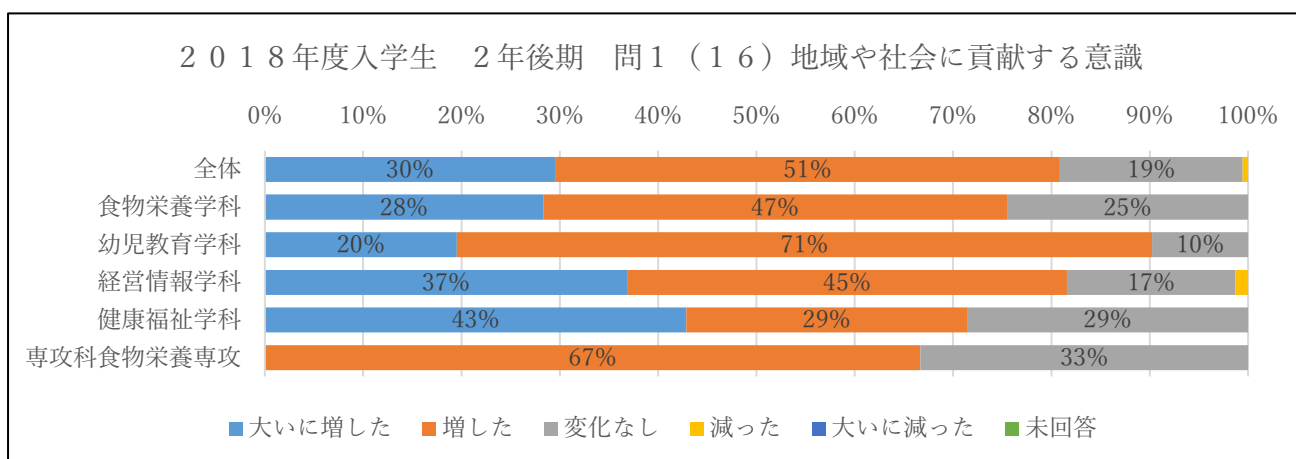
(15) 自らの社会的責任を自覚し高い倫理観を持つ





2019年度入学生は、全体で「大いに増した・増した」と回答した学生は81%となっており、大部分の学生が増したと回答している。2018年度入学生と比較すると、「大いに増した・増した」と回答した学生は2%減と大きな変化は見られなかったが、「大いに増した」の割合は7%減少している。また、学科によって「減った・大いに減った」と回答した学生がわずかではあるが存在したことについては、対策が必要である。

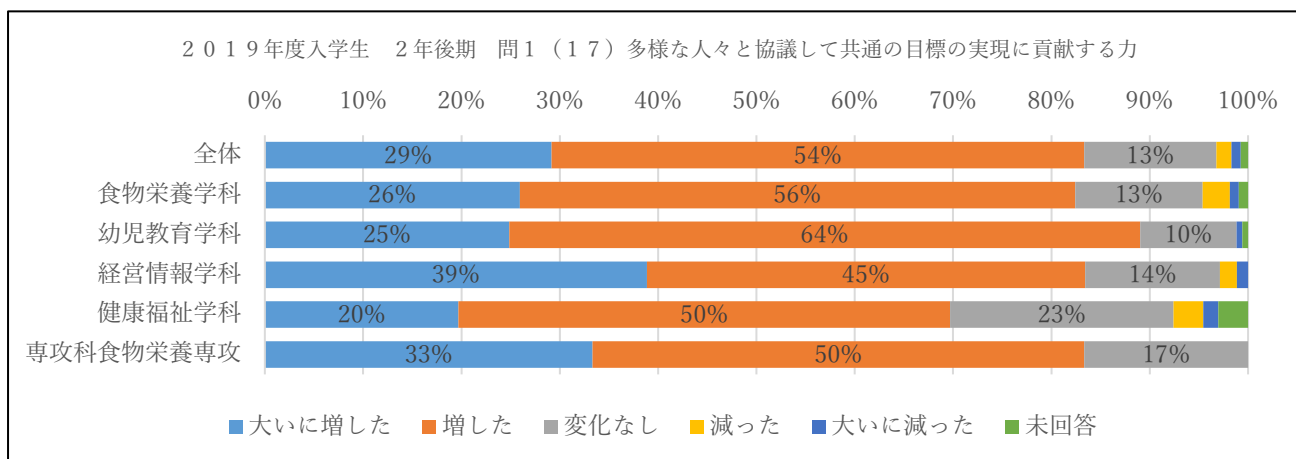
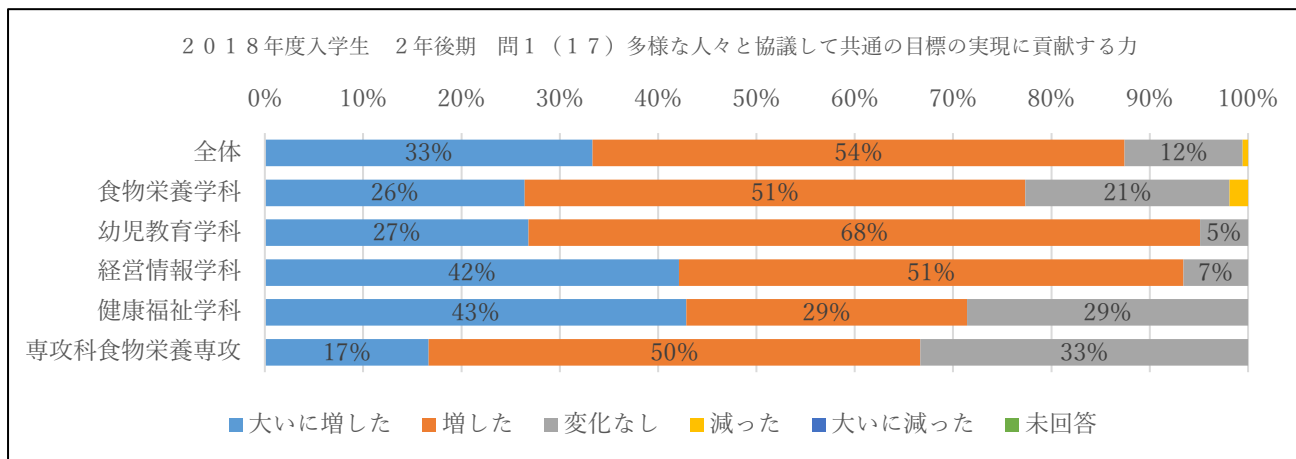
(16) 地域や社会に貢献する意識



2019年度入学生は、全体で「大いに増した・増した」と回答した学生は80%となっており、大部

分の学生が増したと回答している。2018年度入学生と比較すると、「大いに増した・増した」と回答した学生は1%減と大きな変化は見られなかった。また、学科によって「減った・大いに減った」と回答した学生がわずかではあるが存在したことについては、対策が必要である。

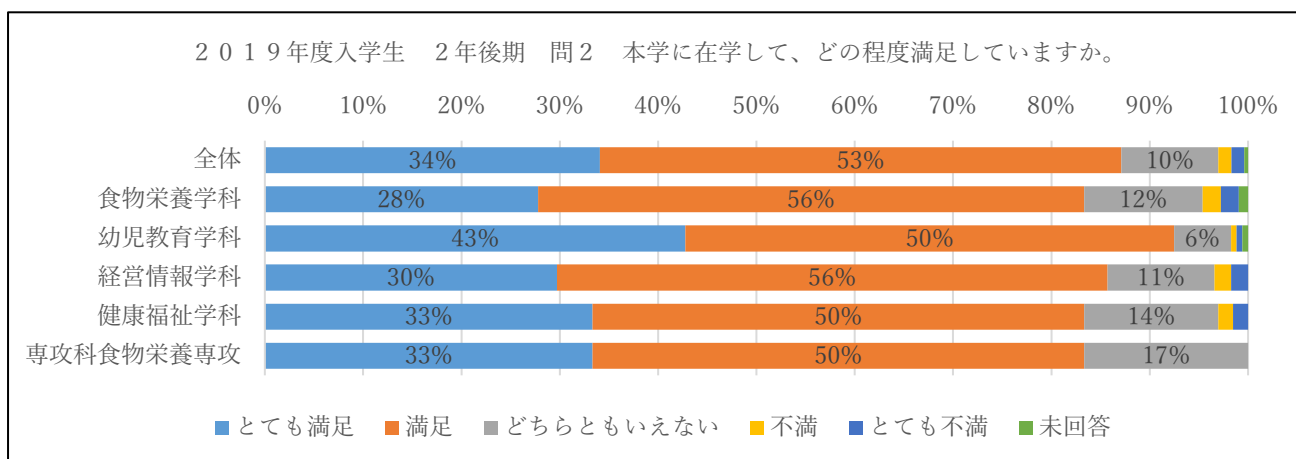
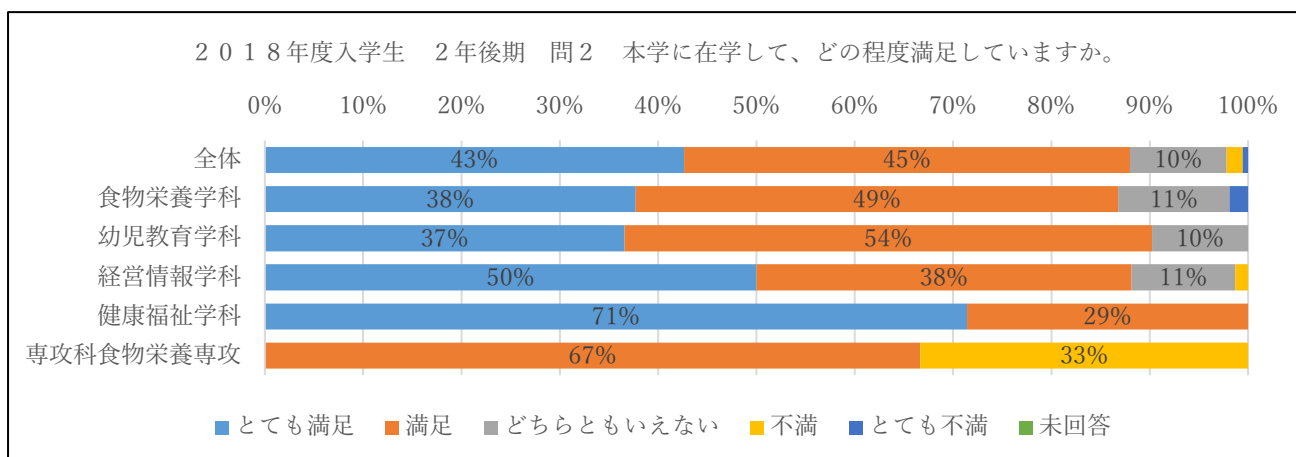
(17) 多様な人々と協議して共通の目標の実現に貢献する力



2019年度入学生は、全体で「大いに増した・増した」と回答した学生は83%となっており、大部分の学生が増したと回答している。2018年度入学生と比較すると、「大いに増した・増した」と回答した学生は4%減となった。学科によって「減った・大いに減った」と回答した学生がわずかではあるが存在したことについては、対策が必要である。

【Ⅱ. 短大生活の満足度・充実度】

問2. 本学に在学して、どの程度満足していますか。

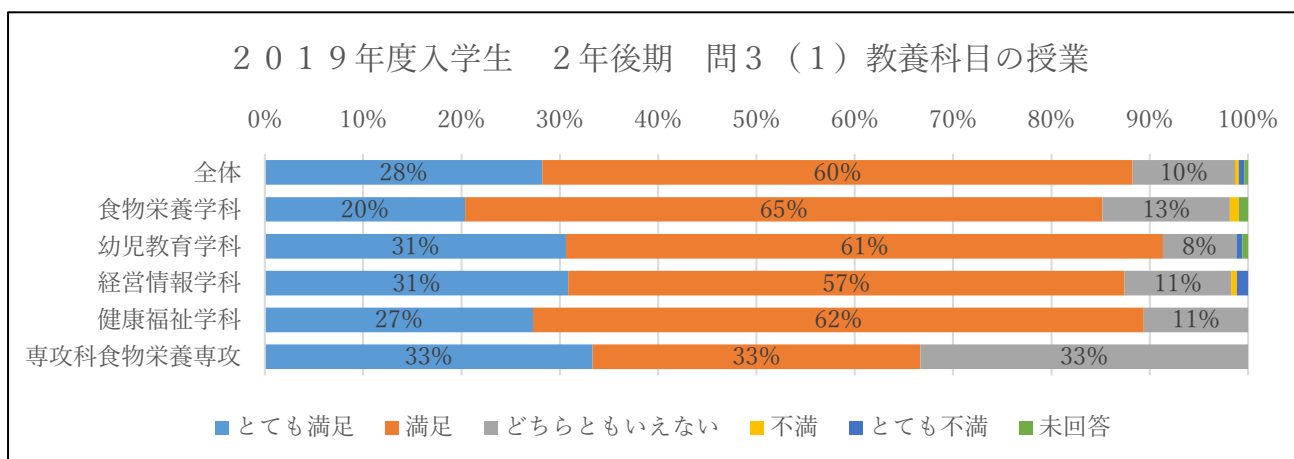
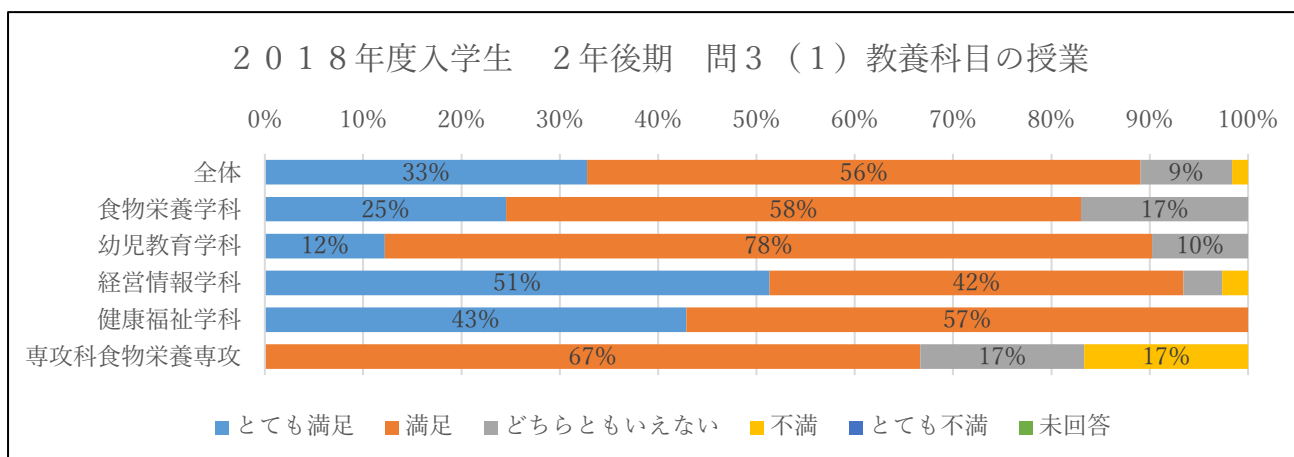


2019年度入学生は、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は87%となっており、大部分の学生が満足したと回答している。2018年度入学生と比較すると、「とても満足・満足」と回答した学生は1%減と大きな変化は見られなかったが、「とても満足」の割合が9%減少している。コロナ禍による混乱も影響していると考えられる。

健康福祉学科と専攻科食物栄養専攻で満足度が低下していることについては、アンケート回収率や回答者数も影響しているものと思われる。

問3. 本学での次の各事項に関して、どの程度満足していますか。

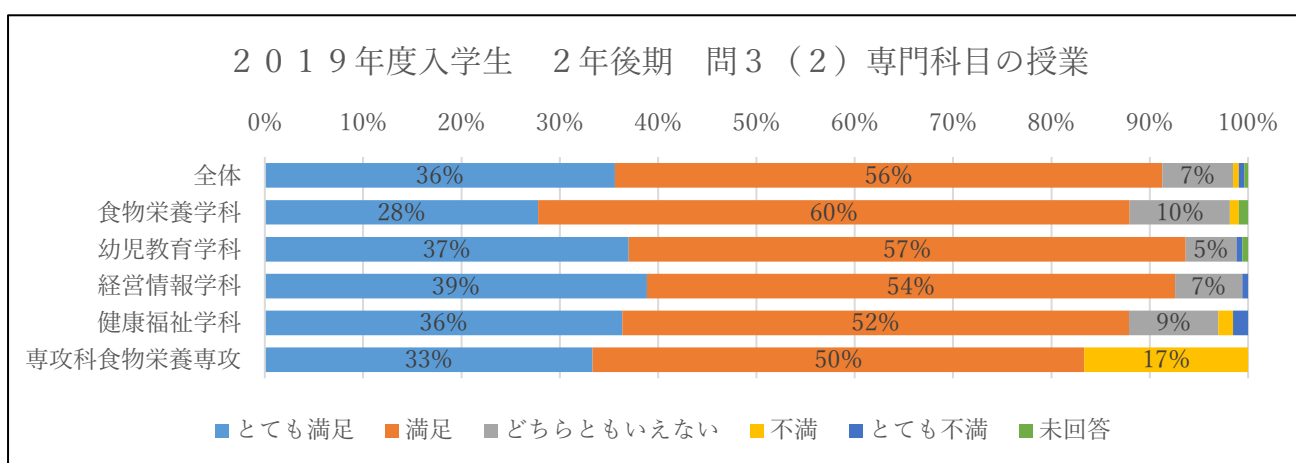
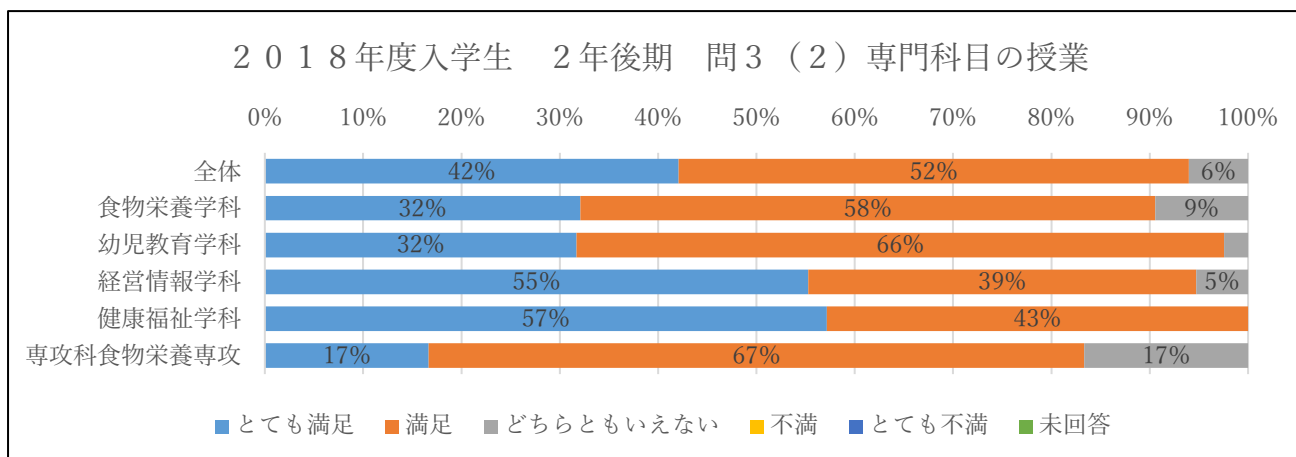
(1) 教養科目の授業



2019年度入学生は、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は88%となっており、大部分の学生が満足したと回答している。2018年度入学生と比較すると、「とても満足・満足」と回答した学生は1%減と大きな変化は見られなかったが、「とても満足」の割合は5%減少している。コロナ禍により対面授業が少なかったことも影響していると考えられる。

学科によって「不満・とても不満」と回答した学生がわずかではあるが存在したことについては、対策が必要である。

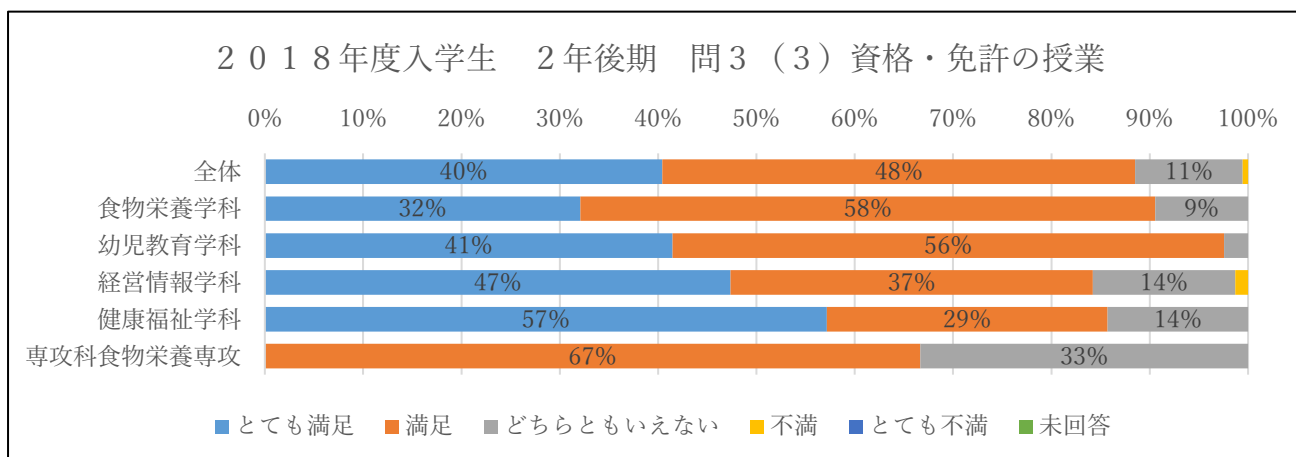
(2) 専門科目の授業



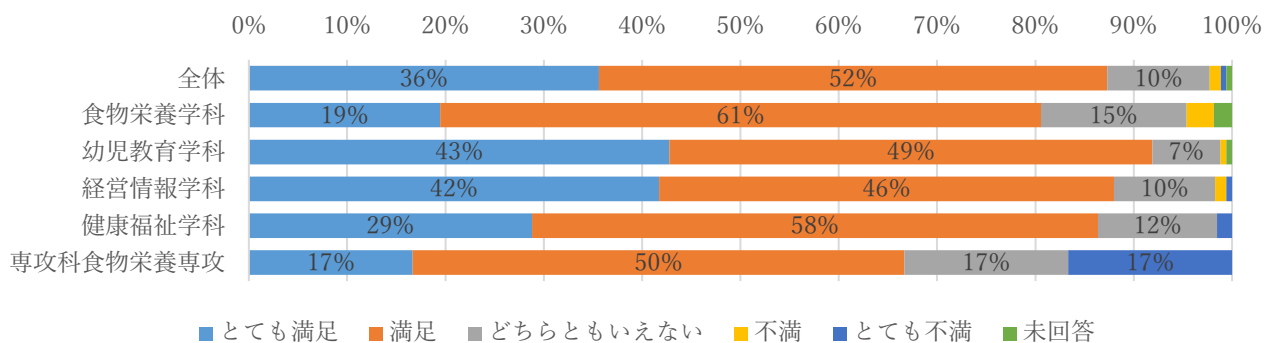
2019年度入学生は、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は92%となっており、大部分の学生が満足したと回答している。2018年度入学生と比較すると、「とても満足・満足」と回答した学生は2%減と大きな変化は見られなかったが、「とても満足」の割合は6%減少している。コロナ禍により対面授業が少なかったことも影響していると考えられる。

学科によって「不満・とても不満」と回答した学生がわずかではあるが存在したことについては、対策が必要である。

(3) 資格・免許の授業



2019年度入学生 2年後期 問3 (3) 資格・免許の授業

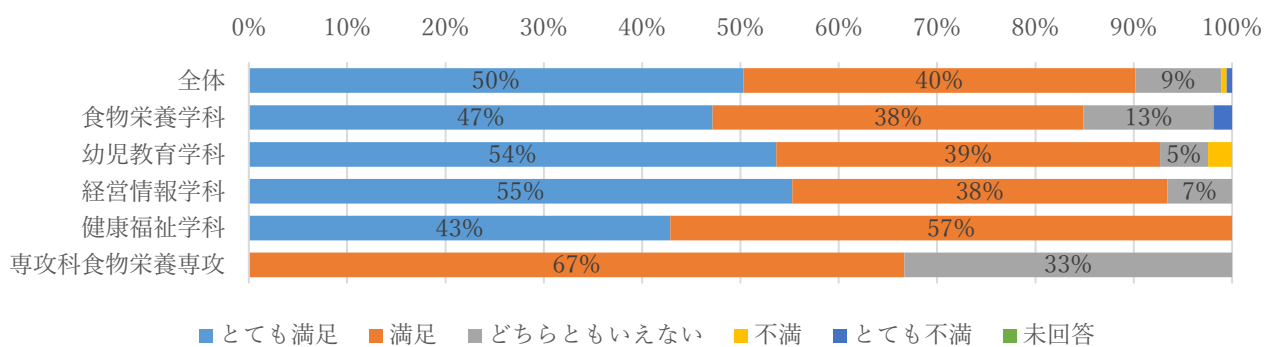


2019年度入学生は、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は88%となっており、大部分の学生が満足したと回答している。2018年度入学生と比較すると、「とても満足・満足」と回答した学生は増減0%となるが、「とても満足」の割合は4%減少している。コロナ禍により実習等が少なかったことも影響していると考えられる。

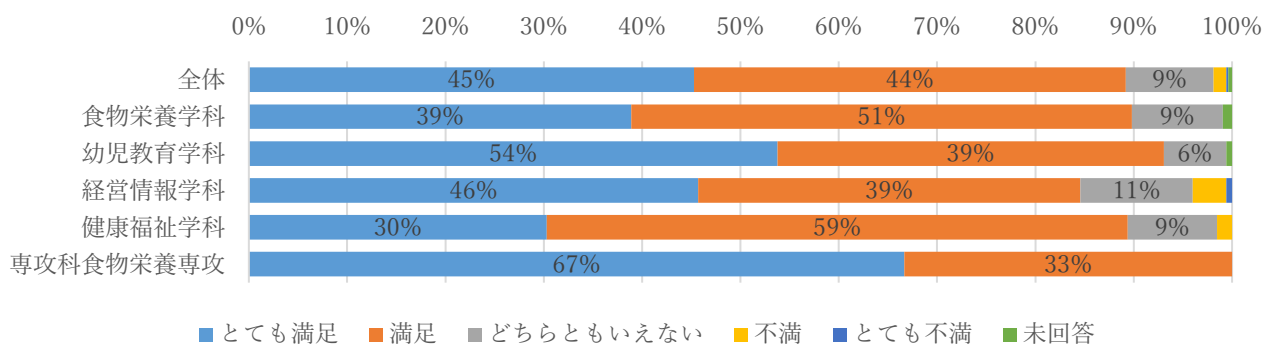
学科によって「不満・とても不満」と回答した学生がわずかではあるが存在したことについては、対策が必要である。

(4) 友人や仲間との出会い

2018年度入学生 2年後期 問3 (4) 友人や仲間との出会い

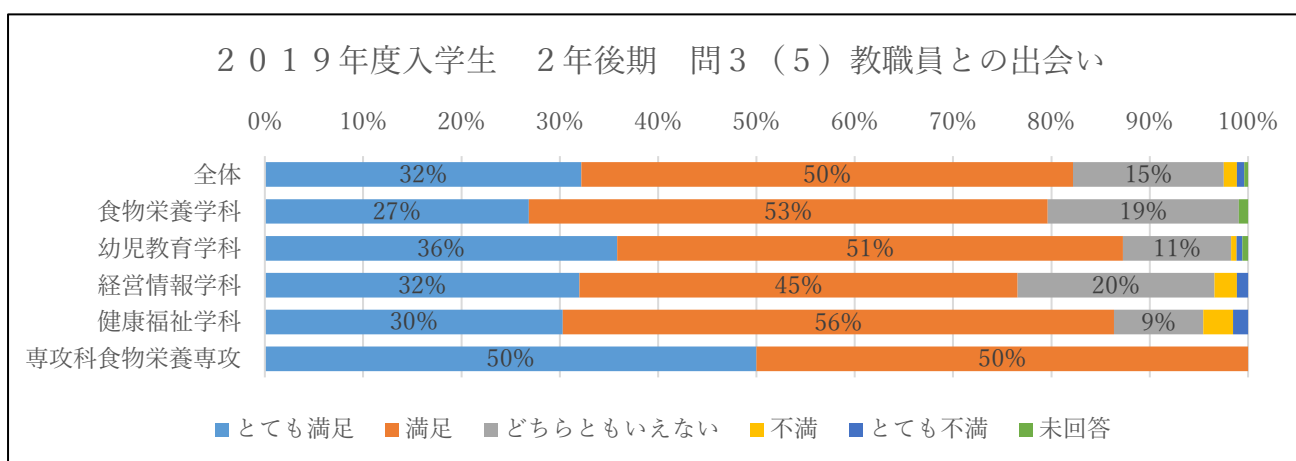
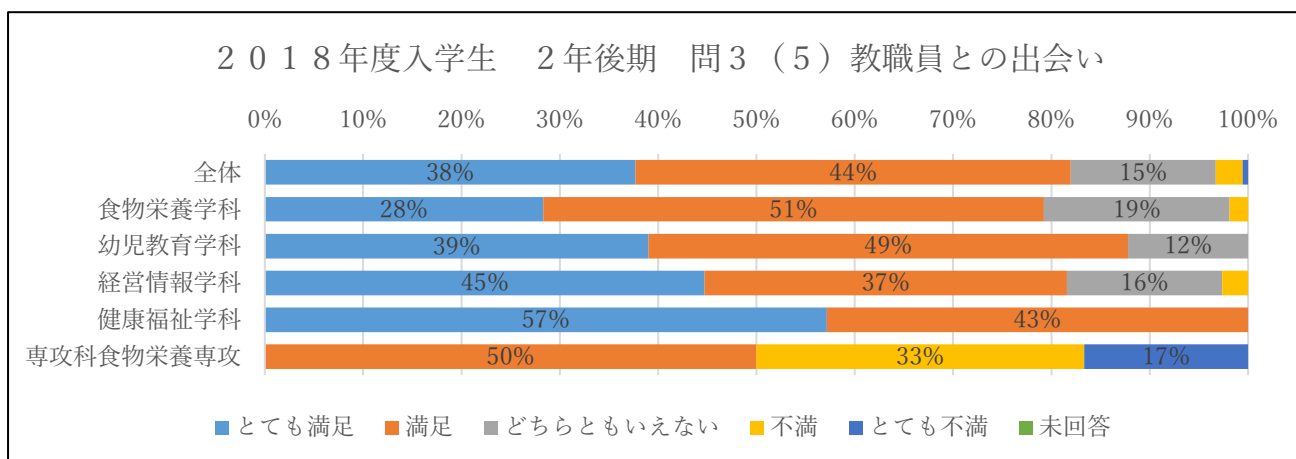


2019年度入学生 2年後期 問3 (4) 友人や仲間との出会い



2019年度入学生は、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は89%となっており、大部分の学生が満足したと回答している。2018年度入学生と比較すると、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は1%減と大きな変化は見られなかったが、「とても満足」の割合は5%減少している。コロナ禍により交流の機会が減ったことも関係していると考えられる。

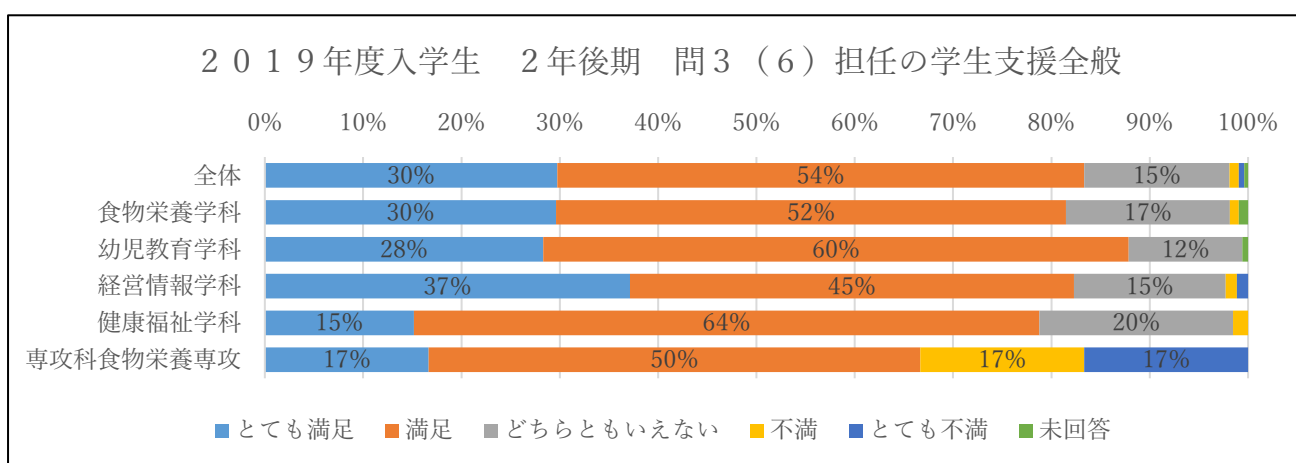
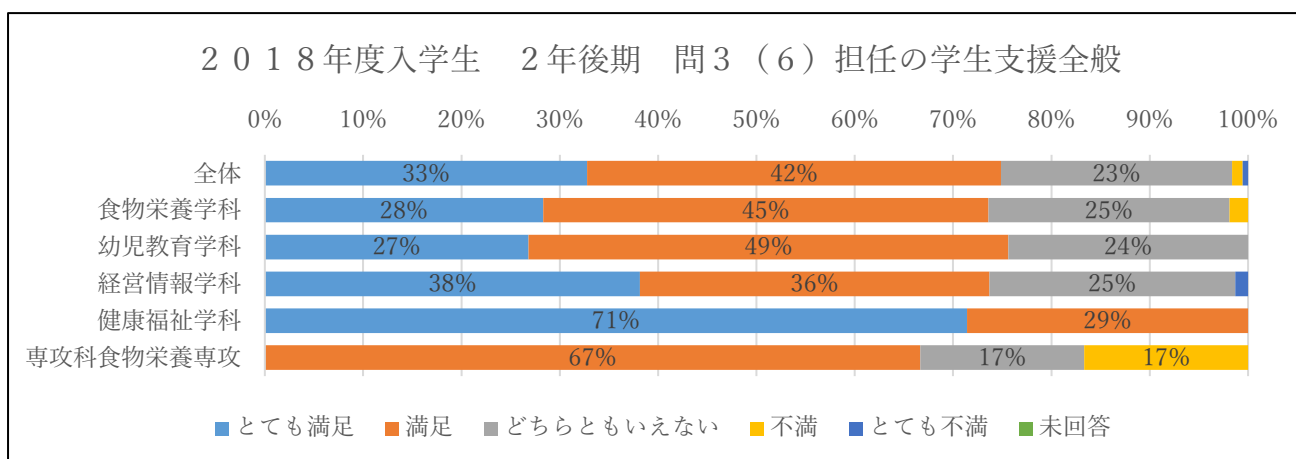
(5) 教職員との出会い



2019年度入学生は、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は82%となっており、大部分の学生が満足したと回答している。2018年度入学生と比較すると、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は増減0%と大きな変化は見られなかったが、「とても満足」の割合は6%減少している。コロナ禍により教職員との出会いの機会が減ったことも関係していると考えられる。

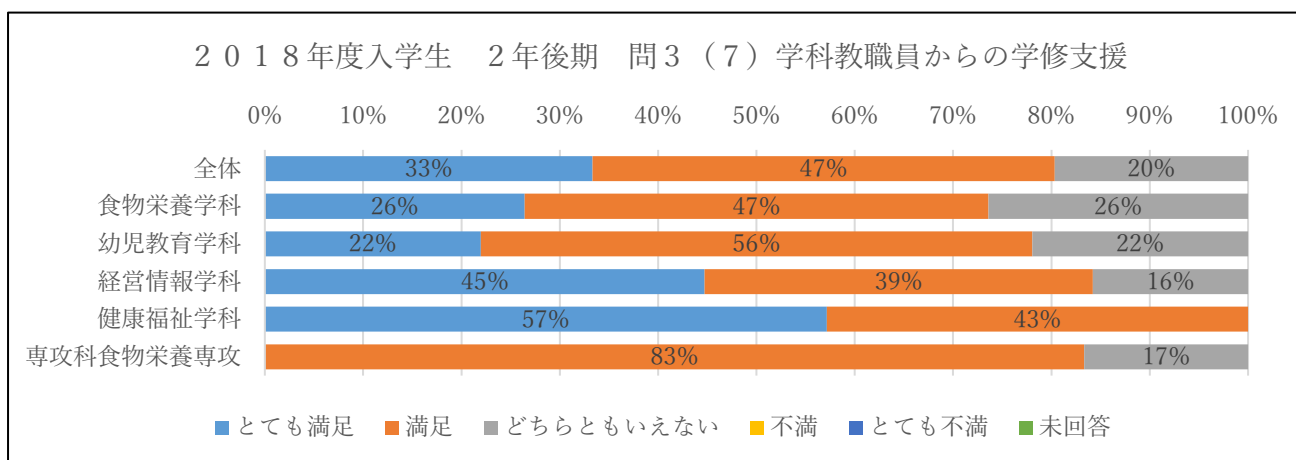
学科によって「不満・とても不満」と回答した学生がわずかではあるが存在したことについては、対策が必要である。

(6) 担任の学生支援全般

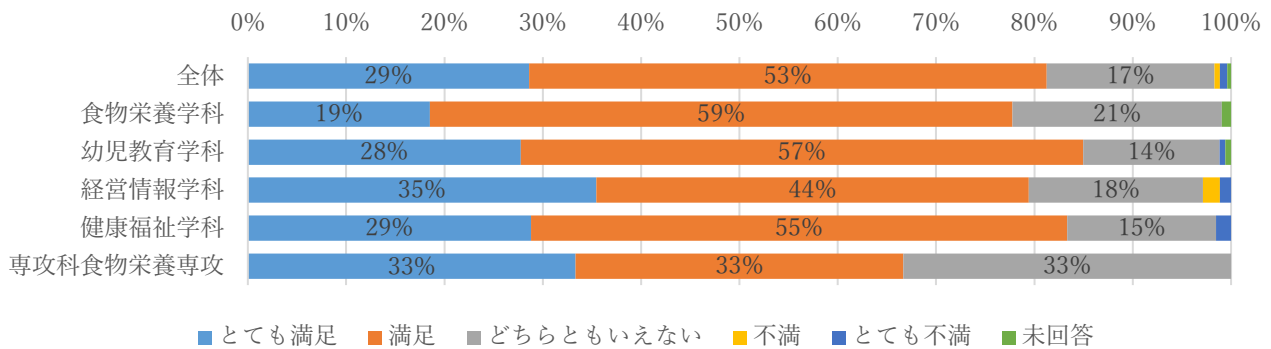


2019年度入学生は、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は84%となっており、大部分の学生が満足したと回答している。2018年度入学生と比較すると、食物栄養学科・幼児教育学科・経営情報学科では満足度が上昇しているのに対し、健康福祉学科と専攻科食物栄養専攻では満足度が低下している。

(7) 学科教職員からの学生支援（履修や成績、単位取得に関する説明・アドバイスを含む）



2019年度入学生 2年後期 問3 (7) 学科教職員からの学修支援

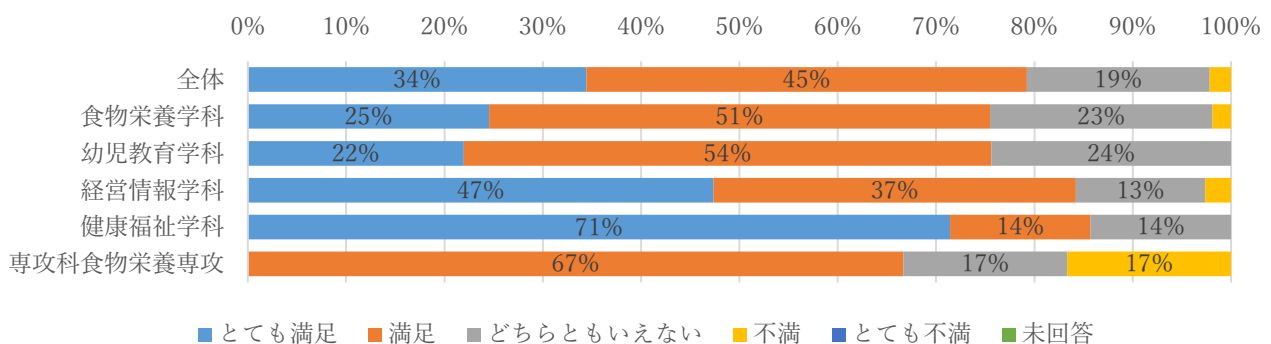


2019年度入学生は、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は82%となっており、大部分の学生が満足したと回答している。2018年度入学生と比較すると、「とても満足・満足」と回答した学生は2%増となるが、「とても満足」の割合は4%減少している。コロナ禍による混乱も関係していると考えられる。

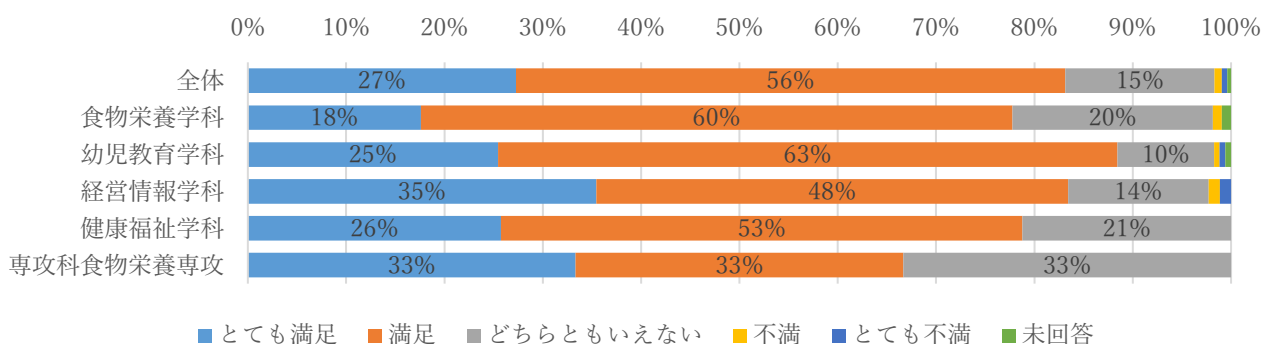
学科によって「不満・とても不満」と回答した学生がわずかではあるが存在したことについては、対策が必要である。

(8) 学務課の支援サービス

2018年度入学生 2年後期 問3 (8) 学務課の支援サービス



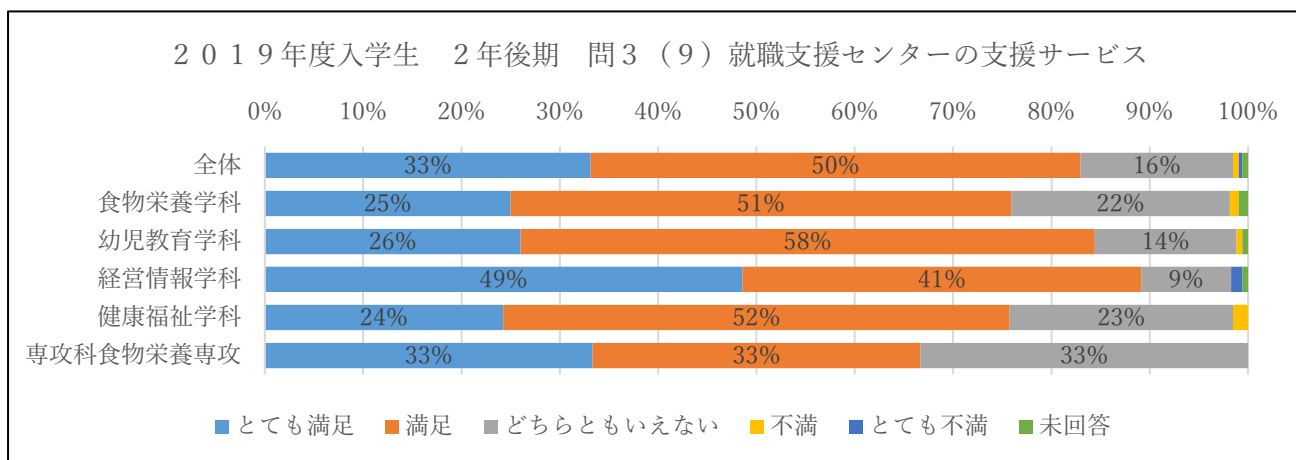
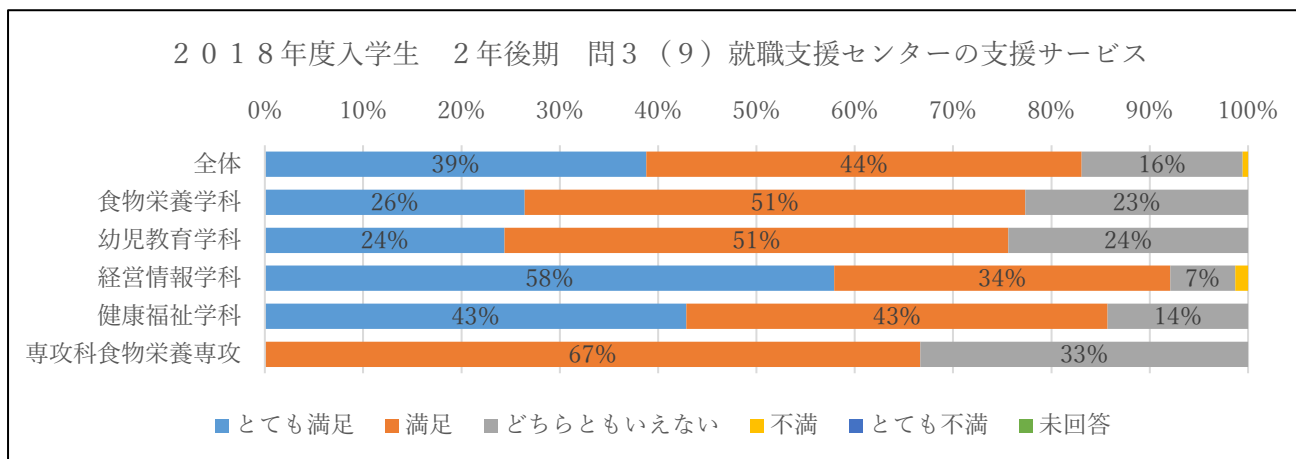
2019年度入学生 2年後期 問3 (8) 学務課の支援サービス



2019年度入学生は、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は83%となっており、大部分の学生が満足したと回答している。2018年度入学生と比較すると、「とても満足・満足」と回答した学生は4%増となっているが、「とても満足」の割合は7%減少している。コロナ禍による混乱も関係していると考えられる。

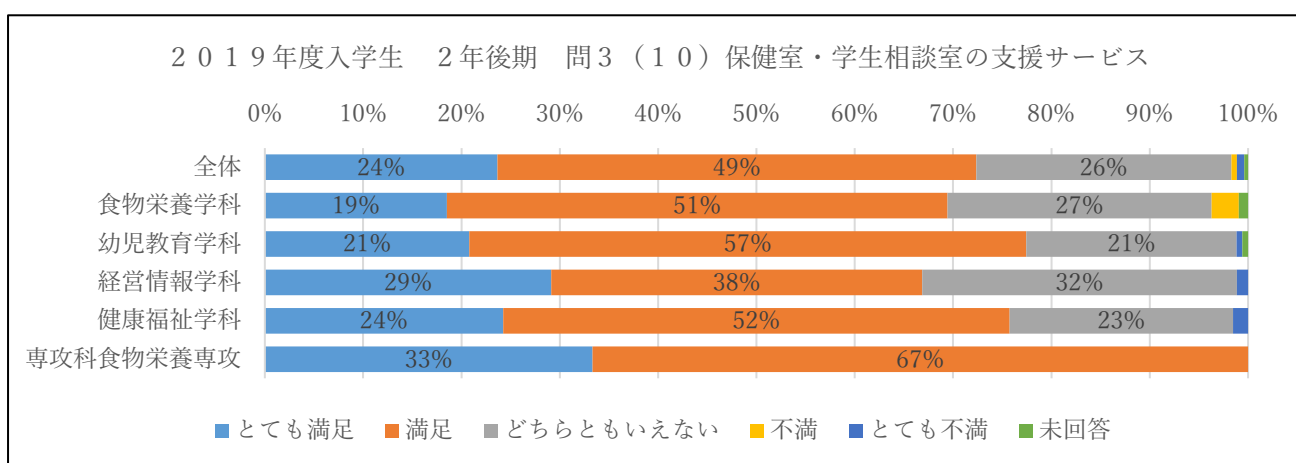
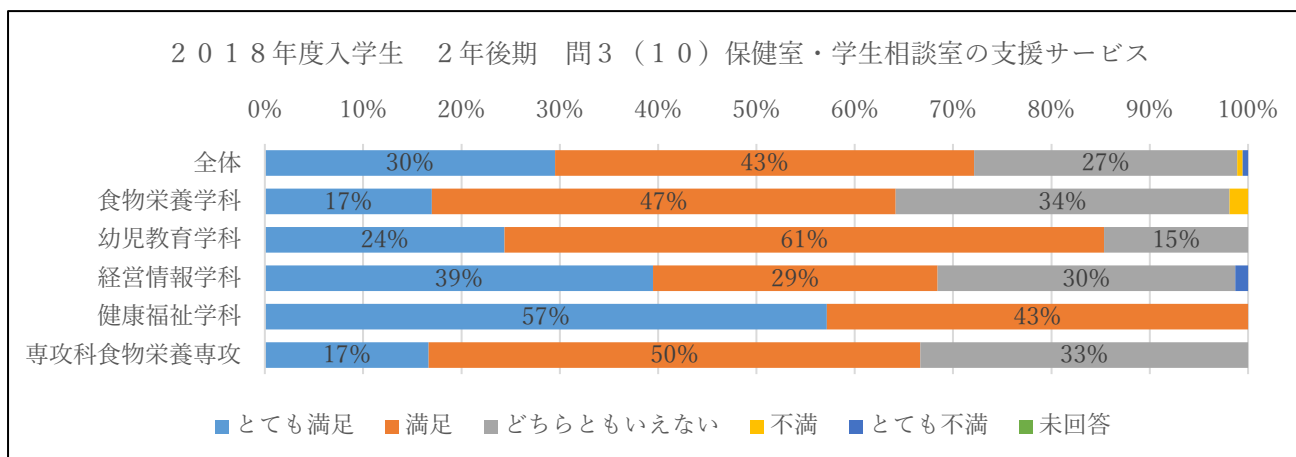
学科によって「不満・とても不満」と回答した学生がわずかではあるが存在したことについては、対策が必要である。

(9) 就職支援センターの支援サービス



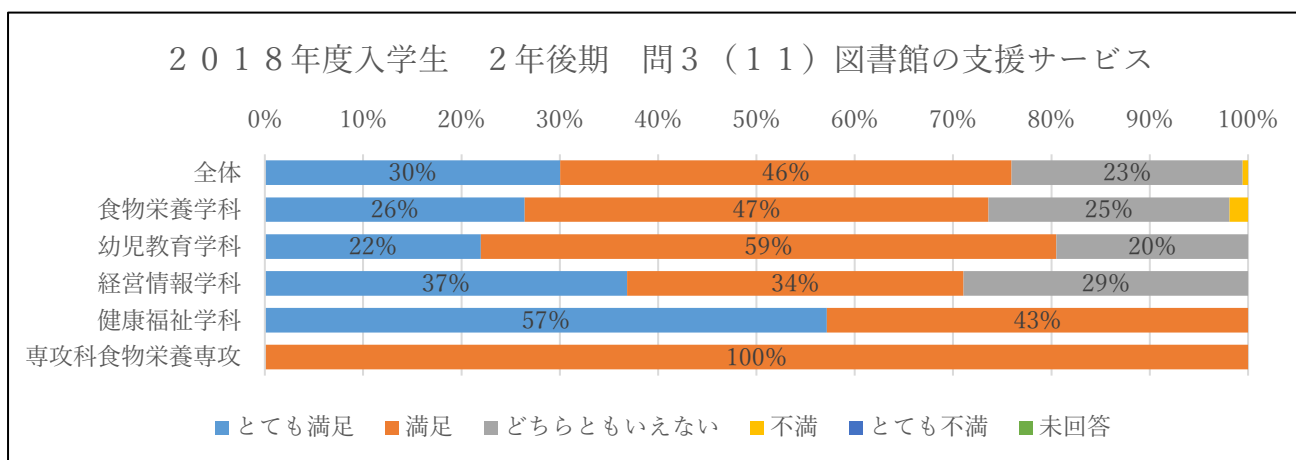
2019年度入学生は、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は83%となっており、大部分の学生が満足したと回答している。2018年度入学生と比較すると、「とても満足・満足」と回答した学生は増減0%となるが、「とても満足」の割合は6%減少している。コロナ禍による混乱も関係していると考えられる。

(10) 保健室・学生相談室の支援サービス

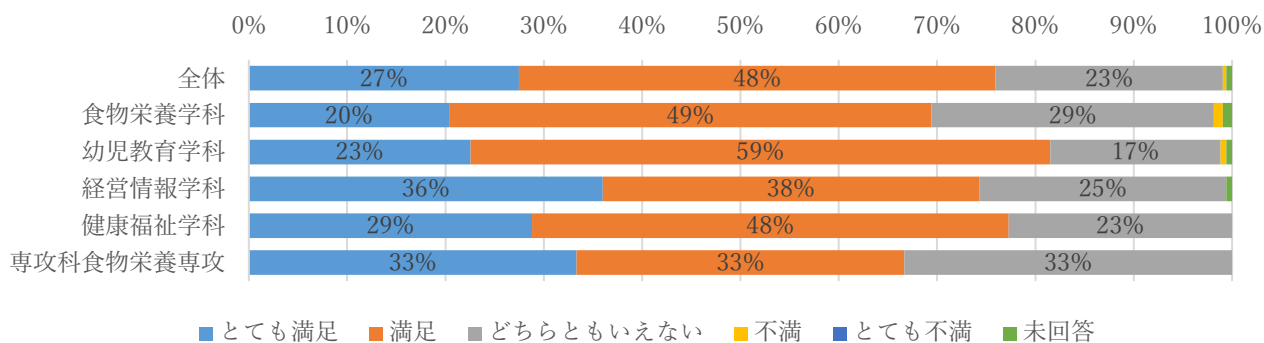


2019年度入学生は、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は73%となっており、大半の学生が満足したと回答している。2018年度入学生と比較すると、「とても満足・満足」と回答した学生は増減0%となるが、「とても満足」の割合は6%減少している。コロナ禍による混乱も関係していると考えられる。

(11) 図書館の支援サービス



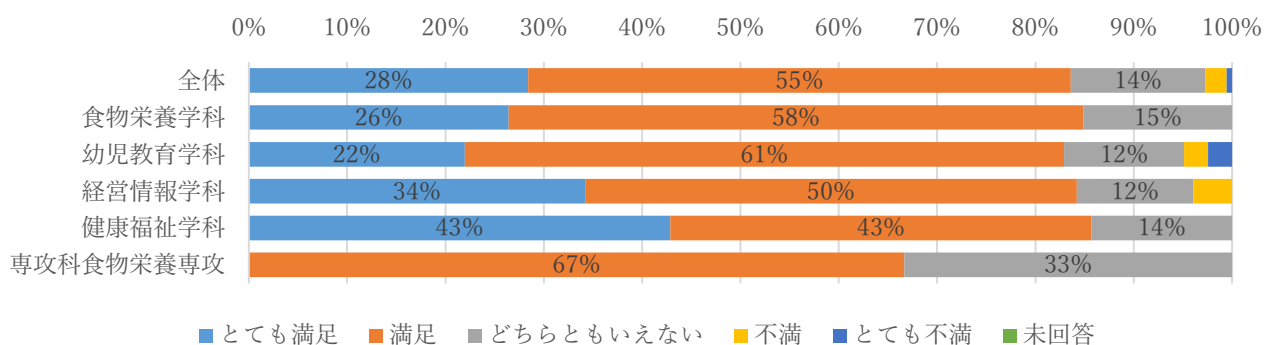
2019年度入学生 2年後期 問3 (11) 図書館の支援サービス



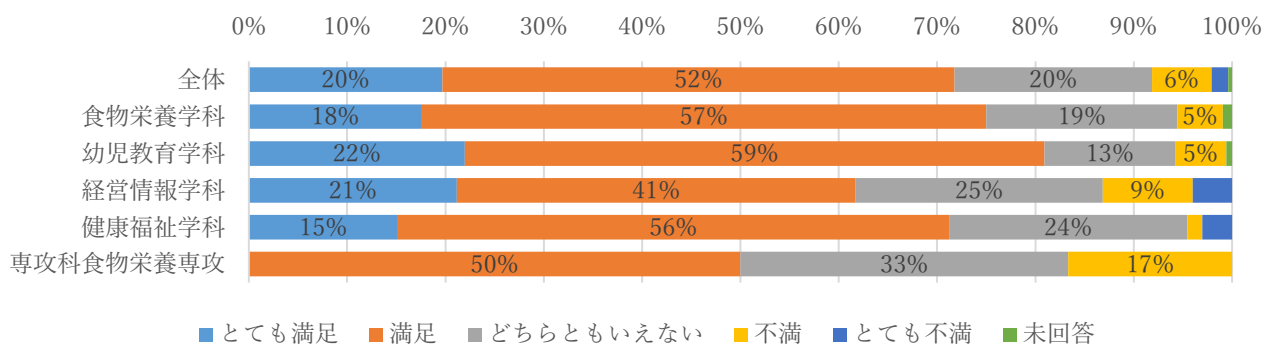
2019年度入学生は、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は75%となっており、大半の学生が満足したと回答している。2018年度入学生と比較すると、「とても満足・満足」と回答した学生は1%減と大きな変化は見られなかった。健康福祉学科と専攻科食物栄養専攻で満足度が大きく減少しており、その原因究明が必要である。

(12) 学校行事 (学外研修・大学祭・球技大会など)

2018年度入学生 2年後期 問3 (12) 学校行事



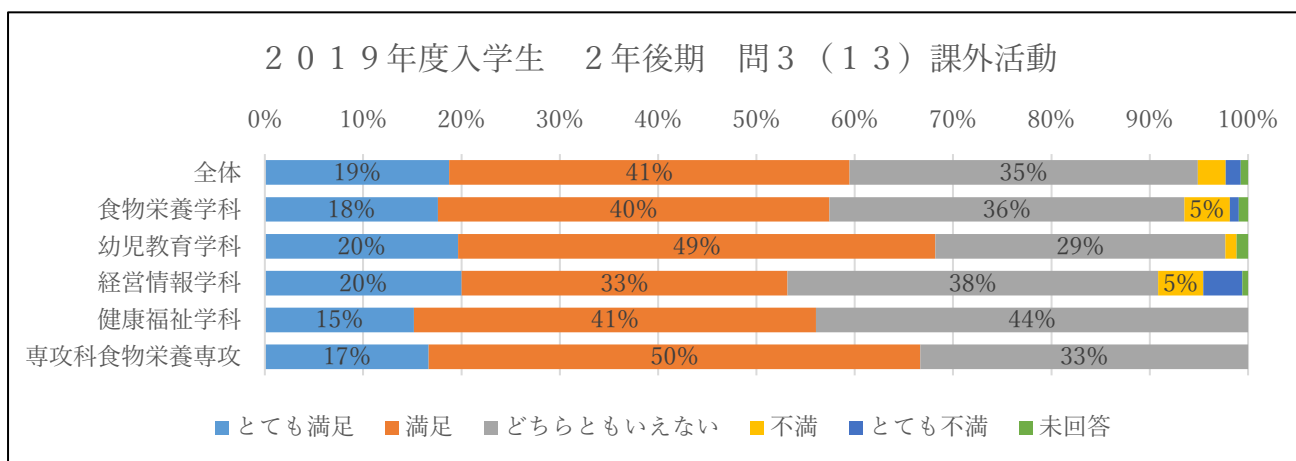
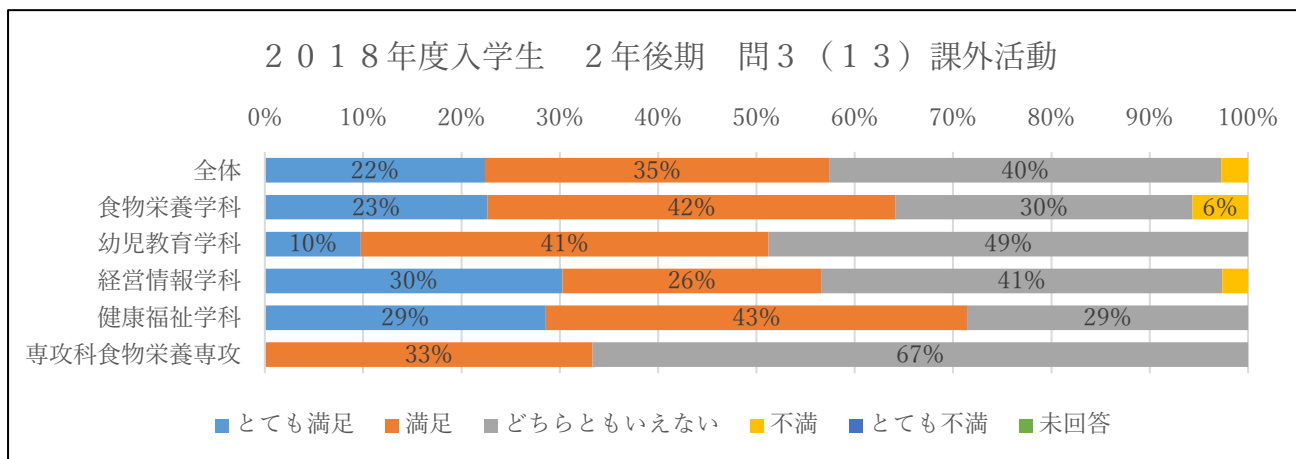
2019年度入学生 2年後期 問3 (12) 学校行事



2019年度入学生は、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は72%となっており、大半の学生が満足したと回答している。しかし、2018年度入学生と比較すると、全体で「とても満足・満足」

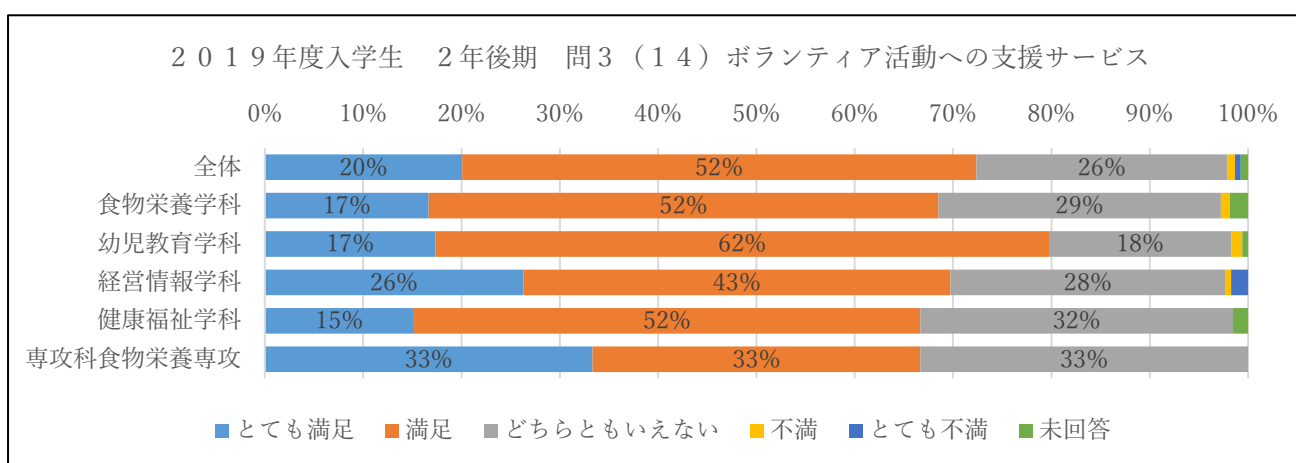
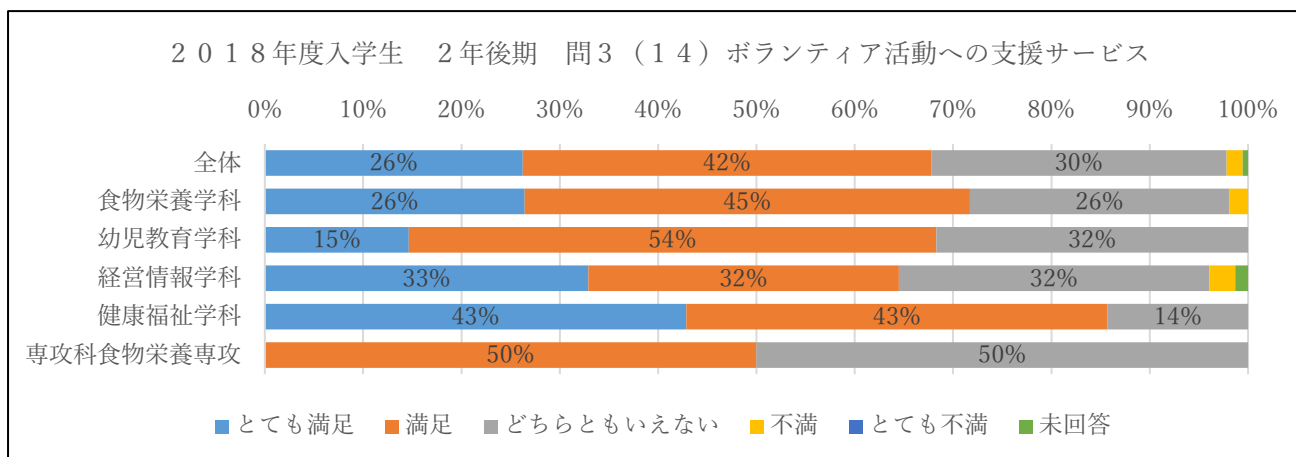
と回答した学生は11%減となっており、「不満・とても不満」と回答した学生も増加している。コロナ禍によってほとんどの学校行事が中止となったことが大きな原因と考えられる。

(13) 課外活動 (クラブ・サークル活動、学生会活動など)



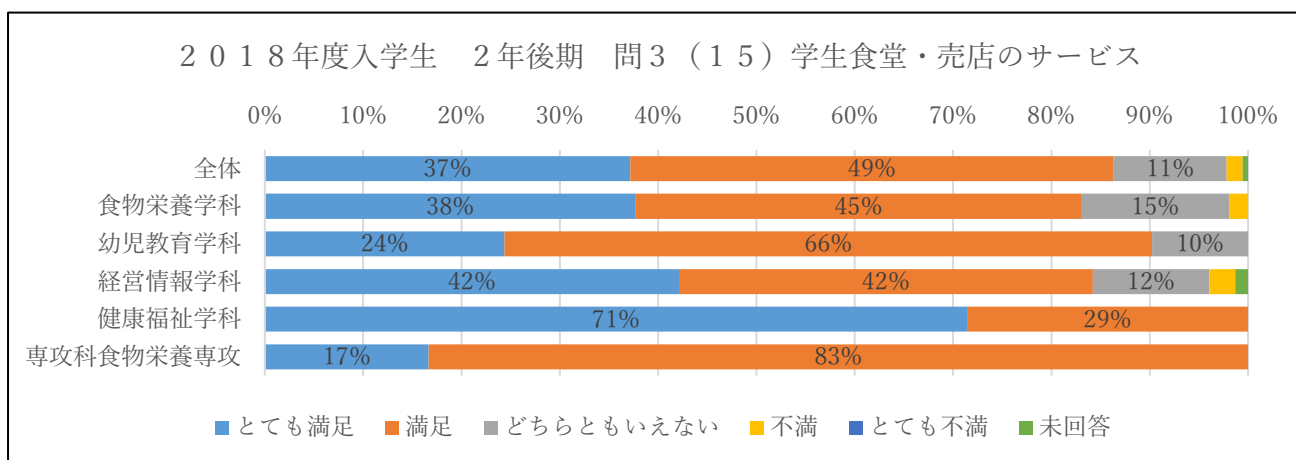
2019年度入学生は、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は60%となっており、過半数の学生が満足したと回答している。2018年度入学生と比較すると、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は3%増となっている。しかし、学科によっては「不満・とても不満」と回答した学生がわずかに増えている。コロナ禍によって思うように活動できなかったことが原因の一つであると考えられる。

(14) ボランティア活動への支援サービス

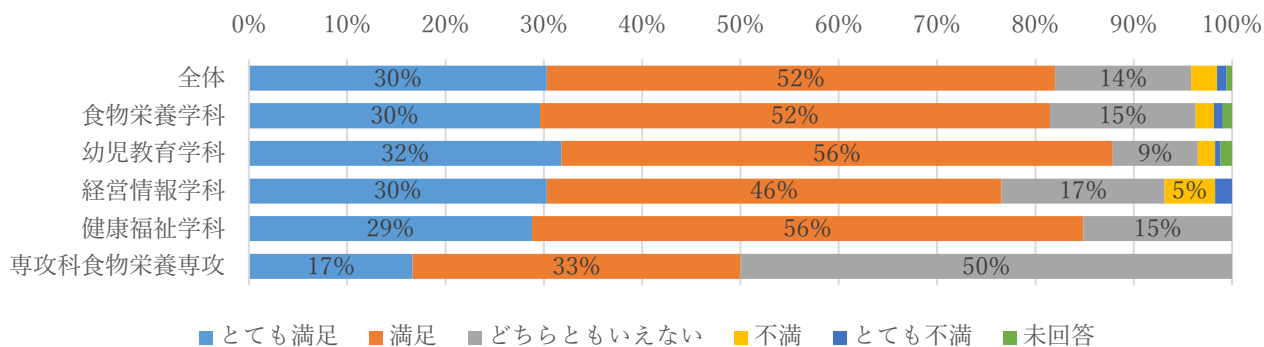


2019年度入学生は、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は72%となっており、大半の学生が満足したと回答している。2018年度入学生と比較すると、「とても満足・満足」と回答した学生は4%増となっているが、「とても満足」の割合は6%減少している。コロナ禍により十分活動できなかったことも関係していると考えられる。

(15) 学生食堂・売店のサービス



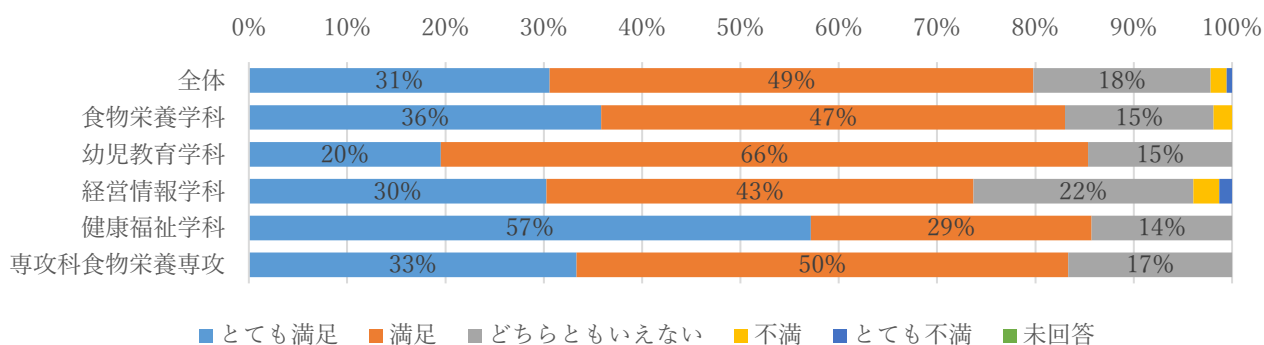
2019年度入学生 2年後期 問3 (15) 学生食堂・売店のサービス



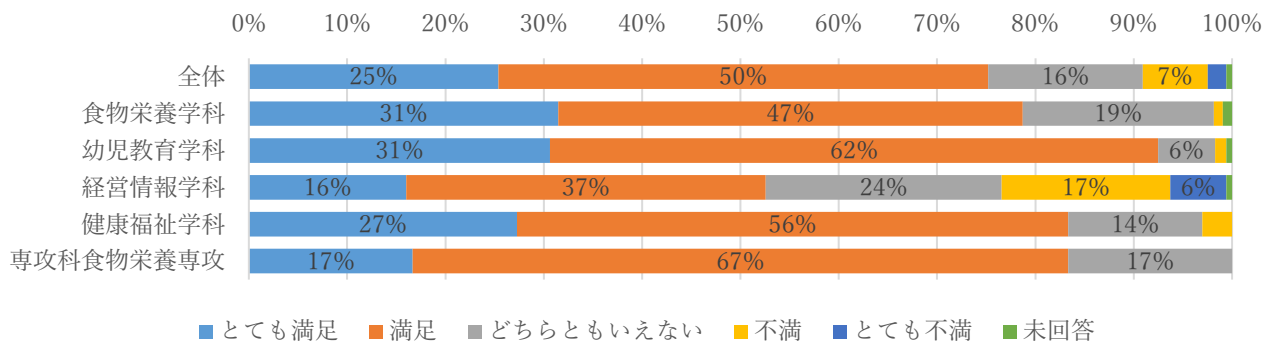
2019年度入学生は、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は82%となっており、大部分の学生が満足したと回答している。2018年度入学生と比較すると、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は4%減となり、「とても満足」の割合は7%減少している。コロナ感染症対策として様々な利用制限をしたことが影響していると考えられる。

(16) 大学の施設・設備全般

2018年度入学生 2年後期 問3 (16) 大学の施設・設備全般



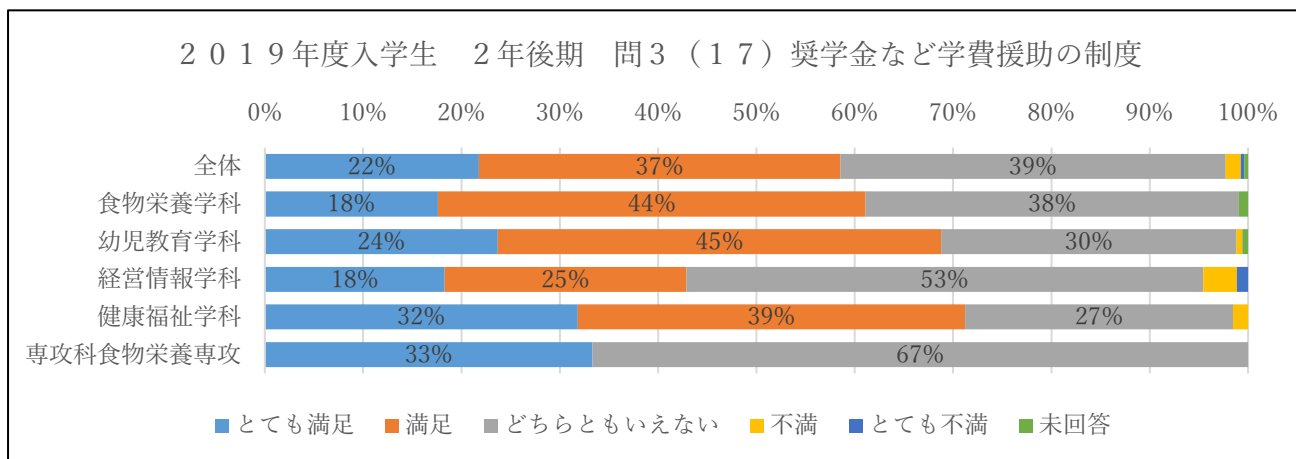
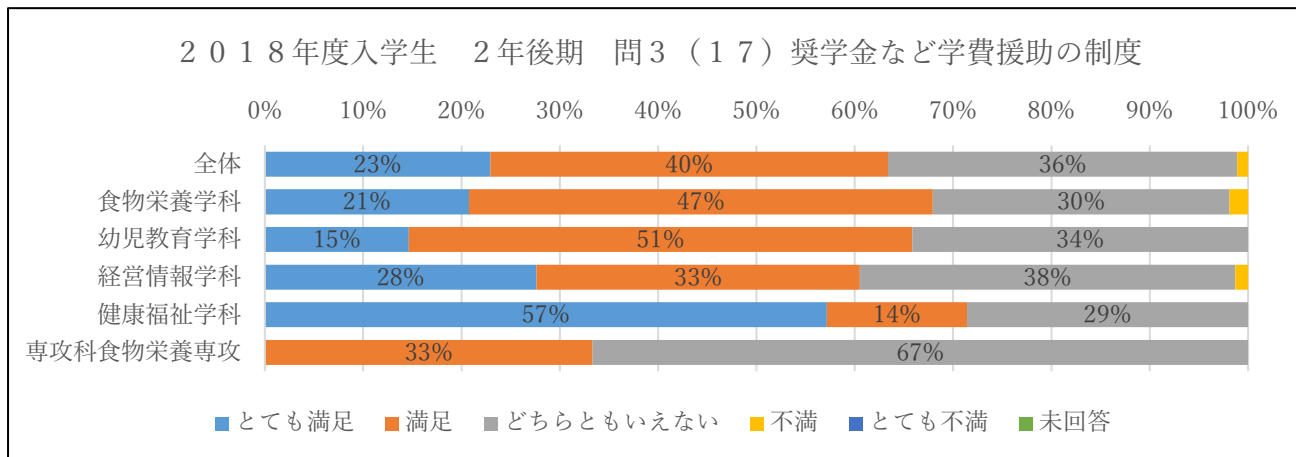
2019年度入学生 2年後期 問3 (16) 大学の施設・設備全般



2019年度入学生は、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は75%となっており、大部分の学生が満足したと回答している。2018年度入学生と比較すると、全体で「とても満足・満足」と回答

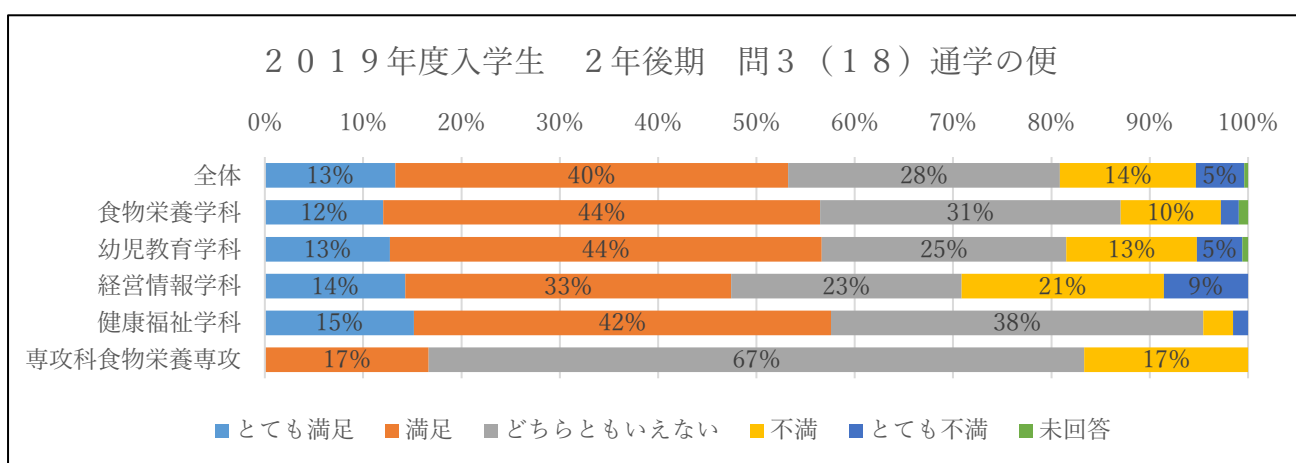
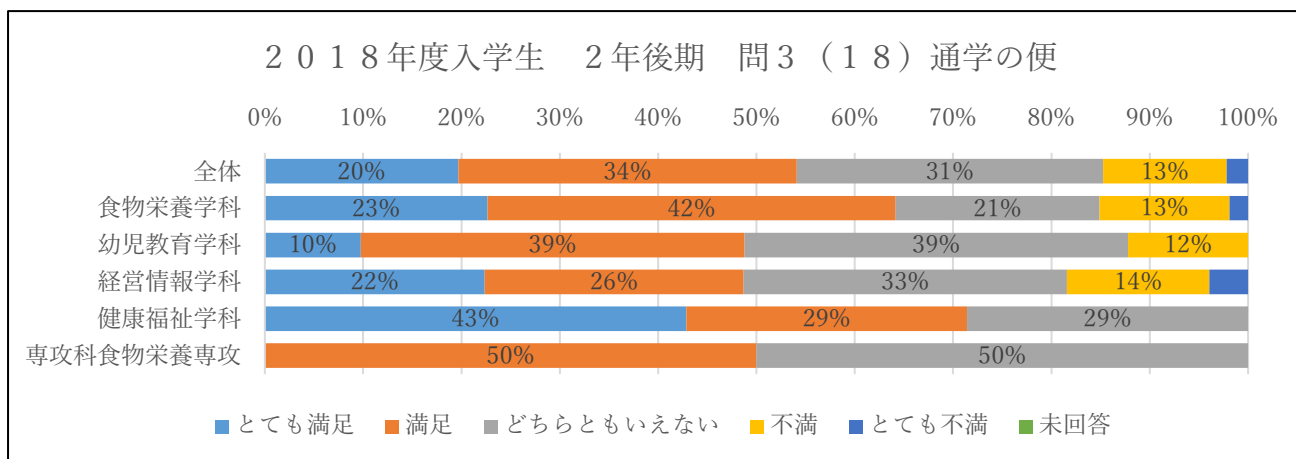
した学生は5%減となっている。特に、経営情報学科で「不満・とても不満」と回答した学生が20%超と大きく増えている。老朽化したA館施設に対する不満と考えられる。

(17) 奨学金など学費援助の制度



2019年度入学生は、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は59%となっており、過半数の学生が満足したと回答している。2018年度入学生と比較すると、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は4%減と大きな変化は見られなかった。すべての学生が利用するものではないことを考慮すると、「どちらともいえない」の回答が多いことも理解できる。しかし少数ではあっても、「不満・とても不満」を感じている学生が存在することに対しては、対策が必要である。

(18) 通学の便 (バスや駐車場の利便性)



2019年度入学生は、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は53%となっている。2018年度入学生と比較すると、全体で「とても満足・満足」と回答した学生は1%減と大きな変化は見られなかった。しかし、他の質問項目と比較すると、最も満足度が低くなっている。

学生の意見を見てみると、「バスの本数が少ない」、「付属高校生のマナーが悪い」など、バスに関する意見が多くを占めている。また、駐車場に関しては「駐車場の利用受付期間が短すぎる」、「満車と言われたが、駐車場を見ると空いている」という意見もあった。毎日来る学生ばかりではないため空いている駐車場があることは仕方のないことだが、「駐車場に番号を振り分ける」、「駐車場図を掲示し、逐次空き状況を伝える」のような、学生に対して分かりやすい伝達を行うなど、対策が必要である。